

令和5年度無人自動運転等の先進 MaaS 実装加速化推進事業
(四国地域における新たなモビリティサービス産業創出及び
周辺関連産業との連携可能性調査及びスマートモビリティ
チャレンジ地域シンポジウム四国開催事業)

報告書

令和6年3月

株式会社ダン計画研究所

目 次

事業の概要.....	1
I. 新しい形態の観光コンテンツに対応した四国ならではの公共交通の調査・実証.....	2
(1) 実証調査の設計及び結果の考察を目的とした検討会の開催.....	2
① 第1回 新たなモビリティサービスに関する検討会の開催概要.....	4
② 第2回 新たなモビリティサービスに関する検討会.....	5
③ 第3回 新たなモビリティサービスに関する検討会.....	6
④ 実現可能な仮説モデル.....	7
(2) 有効的な公共交通モデルの実証調査.....	10
① 実施のねらい.....	10
② 実施方法.....	10
③ 広報.....	17
(3) ノマドワーカー等新たな交流人口モデル検証.....	18
① モデル検証の概要.....	18
② インタビュー調査.....	19
(4) 利用実績.....	22
(5) 利用者アンケート調査結果.....	26
(6) 一般住民向けの地域公共交通の実態把握に向けたヒアリング調査.....	33
II. 「スマートモビリティチャレンジ地域シンポジウム in 四国」.....	36

事業の概要

事業目的

新型コロナウイルスが収束し、観光需要が再燃しつつある中で、2025年には大阪・関西万博の開催が予定されているなど、今後国内外からは多くの集客が見込まれている。特に香川県においては瀬戸内国際芸術祭の開催年と重なっており、島嶼部のオーバーツーリズム問題が懸念されている中で、本土側に魅力的な観光コンテンツを作り上げ、誘客に注力する動きが見られている。香川県東部（東讃地域）で今年度始動した地域一体型オープンファクトリーイベント「CRASSO」の取組もその1つであるが、従来の団体旅行を想定したものとは異なり、個人が行き先を決めて周遊するような新しい形態の観光コンテンツとして立ち上がろうとしている。こうした動きは一過性のもので終わらせるのではなく、大阪・関西万博や、瀬戸内国際芸術祭での集客を契機に定着、継続させることで、初めて地域経済の活性化に資するものとなる。

一方でこのような、短期間に多くの来訪者が分散したスポットを周遊する観光コンテンツにおいては、その移動手段の不足が大きな課題となっている。特に公共交通基盤の脆弱な地方において、その課題は顕著であり、オーバーツーリズムの問題や、自家用車での移動に依存せざるを得ない場合が多く見られる。すなわち、魅力的な観光コンテンツが、移動手段の乏しさによって、その魅力を最大限に活かせていないという課題が存在している。2025年には多くの集客が見込まれていること、また、万博、瀬戸芸を契機として周遊型の観光を地域に定着させることを踏まえると移動手段の不足は解決すべき喫緊の課題となっている。また、東讃地域においては高齢化、人口減少が進み交通の利便性の低下が課題となっている。地域住民の移動手段の確保も同時に解決していく必要があり、事業継続性の観点からは観光用途に限らず、イベント開催期間外の地域住民による普段使いの展開や、ノマドワーカーなど新たな交流人口を誘引する交通環境の整備についても検証を行うことが必要である。

本事業では、このような課題の解決に向けて、新しい形態の観光コンテンツや交流人口の創出・拡大に対応した四国ならではの公共交通のあり方を検討すべく、東讃地域で開催予定の観光イベント「CRASSO/2023」をフィールドとした実証、イベント開催期間外における運行ニーズ調査、および実証・調査結果の考察を目的とした検討会を実施する。

また、シンポジウムを開催し、新しいモビリティサービスの取組に関する情報や課題を共有することにより、関係機関の連携の創出・促進を図るとともに、地域での社会実装の取組などを広く地域に対して発信し、理解や支援を広げていく。

I. 新しい形態の観光コンテンツに対応した四国ならではの公共交通の調査・実証

(1) 実証調査の設計及び結果の考察を目的とした検討会の開催

短期間に多くの来訪者が分散したスポットを周遊する観光コンテンツ及び地域住民の普段使いの移動に対応した、四国ならではの有効的な公共交通のあり方・活用方法について検討するために、以下の通り検討会を開催した。

【開催経緯】

① 第1回 新たなモビリティサービスに関する検討会

日 時：令和5年10月12日（木）10:00～12:00

場 所：津田働く婦人の家 2階第一講習室（さぬき市）

議 題：○本事業の目的・趣旨について（四国経済産業局）

○地域一体型オープンファクトリーCRASSOについて（CRASSO事務局）

○本事業の進め方について（ダン計画研究所）

○意見交換

ー地域公共交通の課題認識について

ー実証調査の進め方（CRASSO期間中）

ー実証調査の進め方（地域住民向け・ノマドワーカー向け）

ー地域公共交通事業者への業務依頼について

ー広報・PR方法について

○その他

② 第2回 新たなモビリティサービスに関する検討会

日 時：令和5年11月1日（水）14:00～16:00

場 所：大内公民館 2階会議室（東かがわ市）

議 題：○全体実施方針の変更について

○実証調査計画（モビリティ・サービス「CRASSO号」）

1) CRASSO/2023 期間中（2日間）運行計画

2) その他期間（ノマドワーカー向け）（3日間）運行計画

○アンケート調査の項目について

○その他

③ 第3回 新たなモビリティサービスに関する検討会

日 時：令和6年2月14日（水）14:00～16:00

場 所：ひとの駅さんぼんまつユーティリティルーム（東かがわ市）

議 題：○「CRASSO号」の振り返り、地域公共交通の現状調査を踏まえた、

今後の方向性

○意見交換

－事業者協力型の移動サービス「チョイソコひさえだ」の事例紹介

－オープンファクトリー「CRASSO」を契機とした、

新たなモビリティサービスの仕組みづくりに向けて

○閉会

【検討会委員名簿】

ネットトヨタ瀬戸内株式会社 モビリティ事業部 部長

モビリティ事業部 オペレーションセンター 係長

大川自動車株式会社 運輸部・次長

有限会社白鳥タクシー 代表取締役

東讃ファクトリーツーリズム CRASSO 実行委員会

実行委員長（株式会社バリューアップシステムズ 代表）

事務局（株式会社タナベ刺繍 代表取締役社長）

事務局（タナカ印刷株式会社 代表取締役）

さぬき市

建設経済部 商工観光課 課長補佐

建設経済部 都市整備課 課長補佐

東かがわ市

地域創生課 副主幹

地域創生課 副主幹

地域創生課 主査

地域創生課 主査

（事務局）

四国経済産業局 地域経済部

製造産業・情報政策課 参事官

製造産業・情報政策課 係員

株式会社ダン計画研究所

取締役・主幹研究員

研究員

① 第1回 新たなモビリティサービスに関する検討会の開催概要

四国経済産業局より本事業の趣旨・目的について説明があり、続いて CRASSO 実行委員会より地域一体型オープンファクトリーイベント「CRASSO」の概要等について説明が行われた。

続いて、事務局より本事業の進め方、事業内容、地域公共交通の課題認識、実証調査の進め方（対象、スケジュール、実施方法、実施体制等）について説明を行った。その後、意見交換を行い、参加委員より以下のような意見が出された。

<地域公共交通の現状について>

- ・タクシー事業者をはじめとする地域公共交通は、人口の減少等を背景に需要が減退するとともに、ドライバー等の高齢化、人手不足も加わり、厳しい事業環境にある。
- ・行政としては、タクシーチケットの配布等、各種施策を展開しているところ。
- ・実証調査を実施するにあたり、供給側の体制を整えることが課題になるかもしれない。

<実証調査の実施に向けて>

- ・一時的に集客が拡大し、需要と供給のバランスをとることが難しいことが想定される。特殊なお出かけ需要が発生すると、オーバーツーリズム状態となり、生活の足が奪われかねない。それをオンデマンド交通サービスによる相乗りを促進することにより、解消することができないかと考える。

<CRASSO/2023 開催日の車両運行台数について>

- ・CRASSO/2023 参加企業の中には駐車場が無い事業者、道路が狭い事業者もあり、来場者が自家用車利用の場合、渋滞、違法駐車などにより近隣住民の交通に支障を来してしまう可能性がある。また、イベントの開催規模（来場者 1,000 人を予定）に比して3台では足りず、6台程度に増車し、より効果的に調査データを集めるべき。

<地域住民向け実証調査について>

- ・地域住民を対象に実証を行うのは、住民の期待値が高まるので次年度以降の国の予算が担保されていないのであれば慎重に対応すべき。
- ・国事業が単年度ということもあり、来年度以降の対応について市に問い合わせが来ることも想定され、対応に苦慮する。
- ・11月の実証に向けて時間がない中、住民に対して周知、PRが行き届かないのではないかと。実証期間も短いので、利用できた住民とできなかった住民の不公平感が生じる可能性もある。

② 第2回 新たなモビリティサービスに関する検討会

第1回検討会での議論を踏まえ、全体実施方針の変更内容について、四国経済産業局より説明がされ、了承された。それに基づいた「CRASSO 号」運行の目的について再確認するとともに、運行体制、運行方法、予約方法及びノマドワーカーの確保状況等について、事務局より説明を行ったのち、意見交換を行った。また、利用者アンケートの項目内容について、意見を聴取した。

意見交換ではまた事務局より運行車両の確保状況について報告するとともに、乗降地点（オープンファクトリーや観光拠点）の設定、タクシー事業者への事前情報提供、タブレット操作マニュアル等の作成予定について説明した。

【主な意見等】

<実施方針の変更内容>

- ・実証調査期間、車両運行台数を仕様書上のイベント CRASSO/2023 期間中 2 日間（3 台以上）、その他期間（一般住民、ノマドワーカー向け）1 2 日間（2 台以上）からイベント CRASSO/2023 期間中 2 日間（6 台以上）、その他期間（ノマドワーカー向け）3 日間（2 台以上）に変更。
- ・さぬき市、東かがわ市及び地域公共交通事業者に対して一般住民向けの地域公共交通の現状及び課題、課題解決に向けた取組等についてヒアリングを行うことで状況を把握する。

<実施方法について>

- ・パーク・アンド・ライド的な利用ができる拠点として、総合案内所の置かれるベッセルおおちや三本松駅周辺の市営駐車場を乗降地点に設定。高速バス乗降場も設定すべき。
- ・オープンファクトリーの参加企業は現在確定作業をしているところ。車でのアクセスが難しいといった企業の情報は別途情報を提供したい。
- ・乗降地点はできるだけ多く登録する。ノマドワーカー用、CRASSO 参加者用のそれぞれに運行システムは分けることはせず柔軟に対応。
- ・観光拠点等、乗降地点に追加すべき地点があれば、共有。

<アンケート調査項目について>

- ・CRASSO 号の趣旨や目的を明示しそれを理解したうえで回答してもらわないと意図がずれる可能性がある。利用者の受容性、取組主体である CRASSO 実行委員会に対する期待や評価についての問いをメインに置くべき。
- ・設問項目は絞りながら、回答しやすいボリュームにすべき。
- ・地域事業者、交通事業者の連携を進めるにあたって、今後どのように発展していくべきか、そのために何が必要か聞けないか。ワーディングを要検討。

③ 第3回 新たなモビリティサービスに関する検討会

令和5年11月21日から25日に実施された「CRASSO号」運行実証調査の運行実績、利用者アンケート結果とともに、地域交通事業者等へのヒアリング結果による現状と課題について報告したのち、今後のモビリティサービスの展開に向けた意見交換を行った。

2025年の瀬戸内国際芸術祭や大阪・関西万博2025を控えるなか、今後のオープンファクトリー「CRASSO」の来訪者規模の拡大を想定した場合、現状の地域交通事業者のリソースでの観光交通需要への対応の難しさといった課題が共有されるとともに、主に平日の生活交通を対象にした事業展開をしているタクシー事業者の収益源の拡充、経営基盤強化という視点から、観光交通需要への対応の可能性を考える契機となったとの認識も得られた。また、地域タクシー事業者が観光客対応やデジタル機器への対応の可能性を感じるきっかけとなるなど、本運行実証調査の効果等を確認することもできた。さらに、CRASSOに参画する地元企業、地域交通を担うタクシー事業者、自治体等が、地域交通に関する問題意識を共有する機会となったことも成果の一つとして確認された。

今後の展開に向けて、ネットヨタ瀬戸内株式会社が支援するチョイソコ・ひさえだ地区の取組事例紹介、さらには、トヨタ・モビリティ基金、国土交通省、経済産業省が取り組むモビリティ支援施策の紹介が行われた。地域の関係者が一体となって、地域公共交通の持続的な発展に向けた検討を継続していくことが確認された。

【主な意見等】

<運行実証調査の振り返り>

- ・運行実証調査を通じて「CRASSO号」に対する利用者の受容性、地域公共交通に関わる地域の企業に対する応援の気持ちが確認できた。今後、来訪規模が拡大した時の供給側の対応という課題も確認できた。
- ・運行実証調査の実施プロセスを通じて、地域公共交通、地域交通事業者が抱える問題について深く知ることができたことが収穫で、今後CRASSOへの参画企業にも浸透を図っていきたい。
- ・タクシー事業者は厳しい状況にあるなかで、CRASSO号は観光客対応、デジタル対応など、これまでにない新たな経験になった。

<「CRASSO」を契機とした、新たなモビリティサービスの仕組みづくり>

- ・観光交通への対応は、日常生活の交通インフラの活用をベースに考えるべき。
- ・「地域の存続」を掲げるCRASSOの取組みにおいても、地域交通の問題は重要と認識。行政、交通事業者と一緒に、地域企業の立場からも積極的に参加していきたい。
- ・平日に偏ったタクシー利用の現状において、休日の観光需要に対して交通サービス提供を行うことは収益に直結し、今後、こうした機会があれば協力していきたい。
- ・交通事業者、地域、観光事業者の考えや意見を聞きながら、議論を深めていかないといけない。

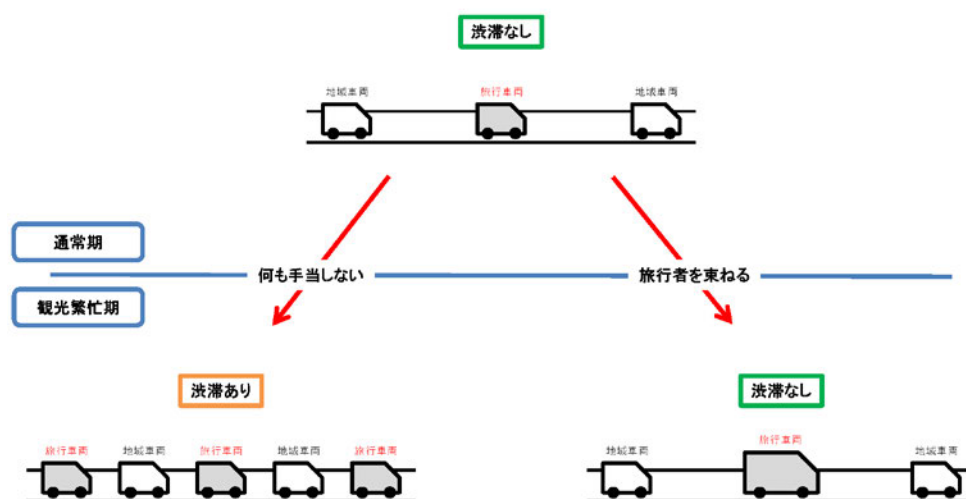
④ 実現可能な仮説モデル

「CRASSO」の開催に合わせた運行実証調査を行ううえでの視点について整理する。

まず、「CRASSO」開催にあわせて集中・発生する交通需要により地域交通に与える影響については、生活交通との関連、移動交通の供給面に与える影響について検討する必要がある。また、「CRASSO」は一般の来訪者も含めた来訪が想定されることから、来訪者がどのような移動ニーズを持ち、どういった対応を進めれば、移動時の体験価値を向上することができるかについても検討が求められる。

1) 観光繁忙期に地域交通環境において渋滞が発生する恐れへの対応

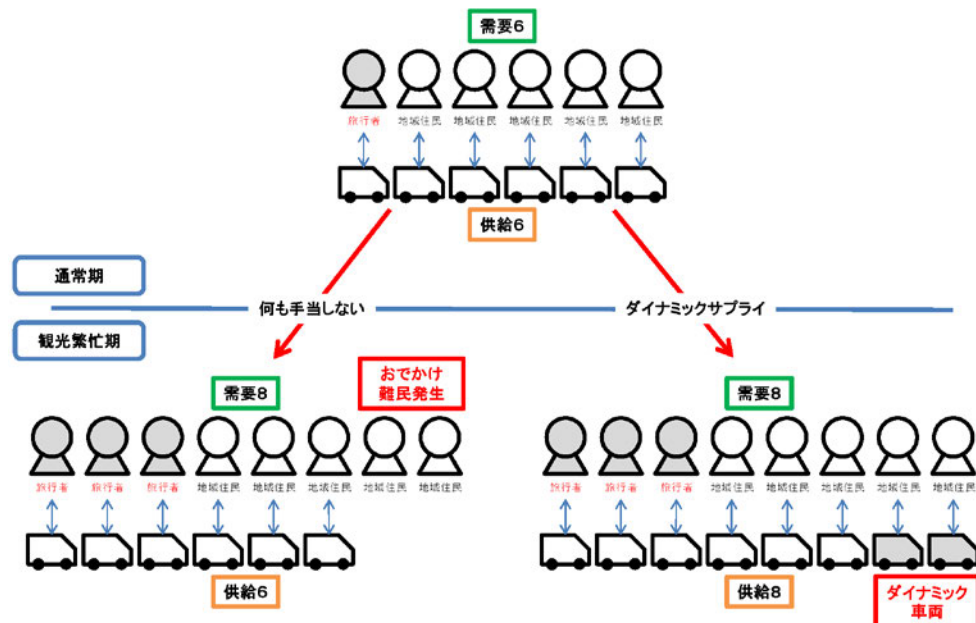
生活道路への観光交通の混入を防ぎ、来訪者を束ねた移動サービスを提供することにより、地域内での観光交通の流動量をコントロールすることが必要と考えられる。



2) 観光イベント時等、一時的に集中発生する来訪者の新たなモビリティ需要への対応

地域タクシー事業者のドライバー不足等を背景として、供給量が制限される地域において、その供給量を超えて、「CRASSO」を訪れる来訪者の需要が発生し対応するとすれば、地域住民の日常的な移動手段であるタクシーの利用が制限され、おでかけ難民が発生する恐れがある。地域住民の生活を支える生活交通に影響を与えることなく、新たな需要に対応することが可能か、検証する必要がある。

将来的な対応を見越して、不足する供給量を瞬間的に補う手法や一時的な需要に対応した供給量のコントロールの手法（例として、ダイナミックサプライ／事業者協力型自家用有償旅客運送等）について、その導入可能性を検討していく必要がある。



3) 「CRASSO」来訪者の移動ニーズの把握・対応

地域一体型オープンファクトリー「CRASSO」来訪者の移動ニーズ等を本運行実証調査を通じて把握し、東讃地域の立地、地域公共交通の状況に応じた、来訪者の「体験価値」の向上につながるモビリティサービスの提供可能性について検証する。

■本運行事業調査で重視する視点

本運行実証調査では、＜需要量のコントロール＞＜来訪者へのおもてなし＞の両視点から、運行方式等について検討する。

＜需要量のコントロール＞

多くの来訪者が自家用車で生活道路等を自由に移動すると渋滞の発生等、地域住民の日常生活に支障が発生する恐れ。来訪者がまとまって移動することで、地域内の観光交通量の低減が図られ、生活環境と調和を図る。

＜来訪者へのおもてなし＞

公共交通利用での来訪者等が不案内な地域においても、安心して快適な移動を可能にするとともに、移動目的にあわせてスムーズな移動を可能とするモビリティサービスを提供することにより、東讃地域への来訪、移動を通じた「体験価値」向上の可能性につなげる。

■自由経路ミーティングポイント型・非固定ダイヤ型 デマンド交通サービスの提供

CRASSO 来訪者が円滑に移動できるモビリティサービスの提供とともに、オーバーツーリズム対策としての日常生活交通との調和を図ることをねらいとして設定し、「CRASSO」開催期間中にジャンボタクシー等を借上げ、「CRASSO」参加企業、観光関連施設、交通拠点等を乗降地点とするデマンド型交通サービスを提供する。

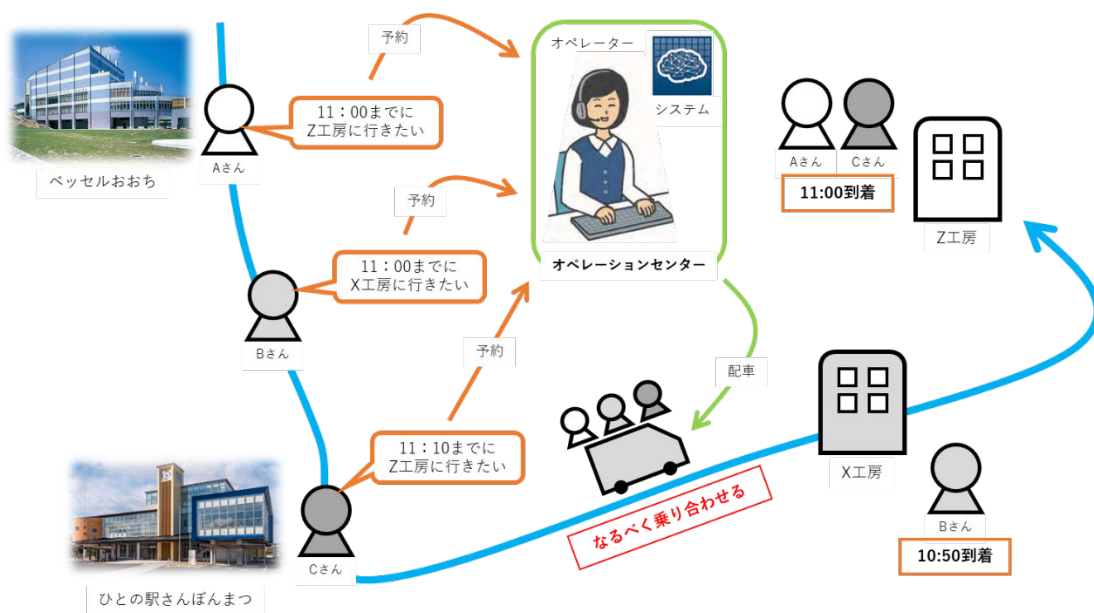
<実施計画策定上の留意点>

- ▷各オープンファクトリー、乗換え拠点（P&R）、イベント会場、飲食等のサービス施設等を多様な乗降地点を設定。
- ▷各オープンファクトリーの開場時間、関連イベント等の開催期間・時間に沿った運行を行えるよう自由度の高い移動をサポート。
- ▷CRASSO への来訪見込み者数・属性等に合わせた運行台数の設定。
- ▷モビリティサービス利用者、地域やサービス提供側の評価の把握（アンケート設計等）。

<デマンド型交通サービス・システム「チョイソコ」の導入>

デマンド型交通サービスは、利用者から予約があった時のみ運行する方式で、自由度の高い発着地（OD）を設定したモビリティサービスを提供し、運行事業者への適切な配車指示等を行えるようなシステム導入が必要となるため、株式会社アイシンが提供するデマンド型交通サービス「チョイソコ」のシステムを利用する。

（運行システムイメージ）



（２）有効的な公共交通モデルの実証調査

四国経済産業局が運行主体となり、ネットヨタ瀬戸内株式会社の協力のもと、自治体・地域交通事業者、CRASSO 実行委員会とが連携し、実証運行を実施した。

① 実施のねらい

東かがわ市、さぬき市を観光目的等で訪れる方の 90%以上が、自家用車利用となっており、ファクトリーツーリズム「CRASSO/2023」の来訪者が自家用車を利用すると、少なからず地域に影響を及ぼすことが懸念される。例えば、初めて訪れる土地で、狭い生活道路へ多くの車が流入してしまうと、渋滞や違法駐停車の問題等の発生が懸念される。また、主要駅、主要バス停まで電車やバスで来訪したけれど、「CRASSO/2023」参加企業を訪問するための「二次交通」が脆弱という問題も抱えている。

こうした問題が発生しないように、「来訪者に気持ちよく移動してもらうこと」と「近隣住民の生活交通」との調和をはかることをねらいとして、本実証調査を実施する。

「CRASSO/2023」の総合案内所が置かれる「ベッセルおおち」に一旦、車を停車していただきながら、パーク・アンド・ライド的に本モビリティサービス「CRASSO 号」を利用してもらうことで、「CRASSO/2023」参加企業や飲食・宿泊、観光拠点等を乗り合いしながら周遊することで、地域に入り込む自家用車等の交通量を減らすことができる。また、「CRASSO/2023」参加企業の中には、駐車場を十分確保できない事業者も存在することから、有効なサービスとなりうると考えられる。

「CRASSO 号」のような、自治体と地域交通事業者、加えて地域の民間事業者（CRASSO 実行委員会）が連携する取り組みは、全国的にも珍しく、先駆的な取り組みと捉えられる。

地域一体型オープンファクトリーに取り組む事業者が地域社会の一員として、社会的な意義のある取り組みを行うことで、地域に受け入れられる、地域に貢献するという意味でも、「CRASSO」自体のブランド価値を高めることにもつながるものと考えられる。

② 実施方法

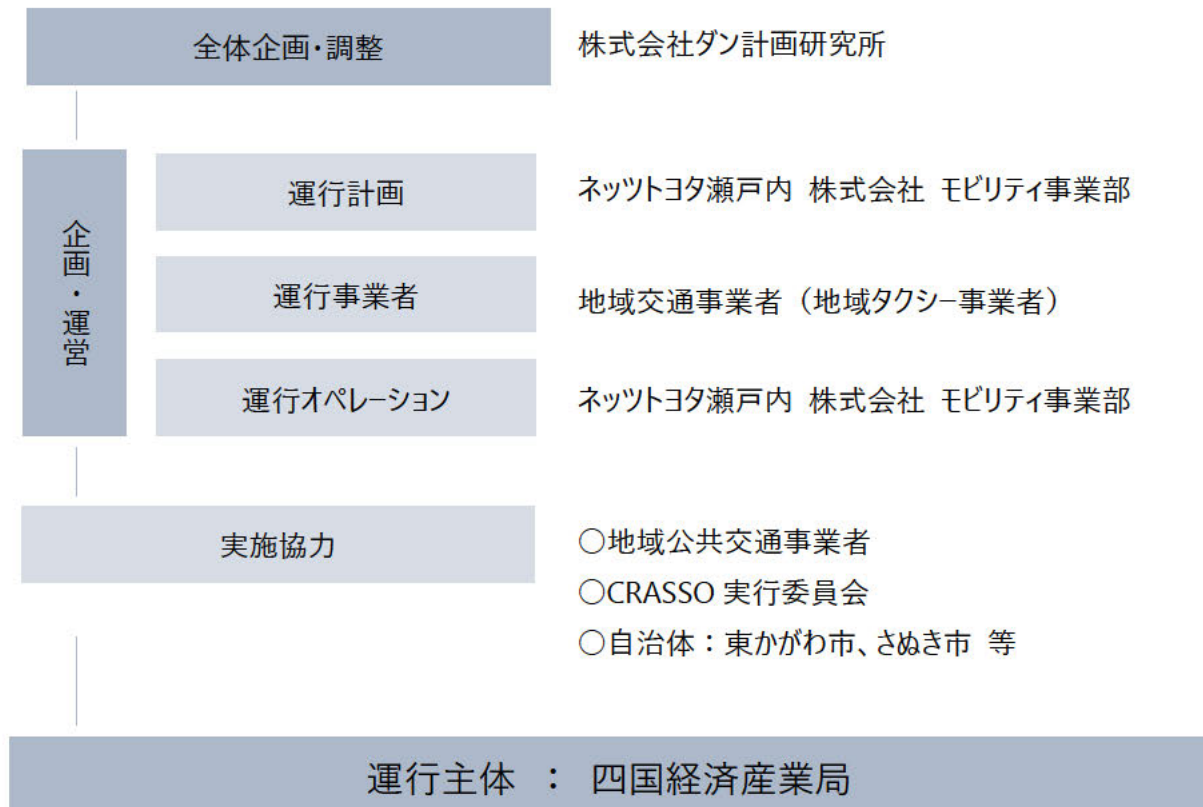
令和 5 年 1 1 月下旬に開催された香川県東部地域における地域一体型オープンファクトリーイベント「CRASSO/2023」の開催に合わせて実証調査を行った。

調査期間は、イベント開催期間外におけるノマドワーカーなど新たな交流人口を誘引する交通環境の整備ニーズも同時に調査できるよう、イベント開催期間を含めて 5 日間の運行とした。

	「CRASSO」期間外		「CRASSO」期間中 2日間
	11/21（火）～22（水）	11/23（祝・木）	11/24（金）～25（土）
運行方式・ ダイヤ	自由経路ミーティングポイント型 ・ 非固定ダイヤ型		
利用対象者 （ペルソナ）	ノマドワーカー 3名/日 （コワーキングスペース利用者、 フリーランス・クリエイティブ 人材 等）		オープンファクトリー来訪者 （域外の事業関係者・取引先、 ビジネス客、視察訪問、 行政関係者）
運賃	無料		
予約方式	電話又はウェブサイトからの受付（30分前）		
運行時間	9：00～16：00 （6時間）	9：00～17：00	
運行エリア	東かがわ市、さぬき市内 ※上記エリア内を予約申込に応じて、自由に運行。		
乗降ポイント	域内観光拠点、景観スポット、 飲食店、宿泊施設、コワーキング・ ワーケーション施設、 駅等の交通結節点 等		オープンファクトリー出展者、 総合案内（ベッセルおおち）、 駅等の交通結節点
車両台数	2台（普通車）		6台（普通車＋ジャンボタクシー）
稼働台数	2台（普通車）		11/24 5台（ジャンボ 3台、普通車 2台） 11/25 4台（ジャンボ 1台、普通車 3台）

【運行体制】

四国経済産業局が運行主体となり、ネットヨタ瀬戸内株式会社の協力のもと、自治体、地域交通事業者、CRASSO 実行委員会とが連携し、実証運行を実施した。



【乗降ポイント】

カテゴリーを区分し、以下の通り、乗降地点を設定した。

(オープンファクトリー 23 か所)

	表示名	業種	場所
00	瀬戸内リゾート ベッセルおおち	宿泊業	東かがわ市馬篠 1 2 0 0
1	江本手袋	手袋製造	東かがわ市引田 2 7 2 4
2	かめびし屋	醤油製造	東かがわ市引田 2 1 7 4 番地
3	ルボア	革製品製造	東かがわ市松原 1 0 9 7 - 3
4	hacomo	ダンボール製品製造	東かがわ市湊 1 8 5 8
5	Kawa-wa	手袋製造	東かがわ市湊 1 8 4 2
6	平田商店	手袋製造	東かがわ市湊 5 1 6
7	ドラゴン	革製品製造	東かがわ市三本松 6 9
8	アーバン工芸	革製品製造	東かがわ市三本松 1 1 3 5
9	イチーナ	手袋製造	東かがわ市横内 1 0 2 3 - 5
10	生新	革製品製造	東かがわ市横内 6 2 5 - 1
11	福繫食品	ビール醸造	東かがわ市水主 4 6 6 0 - 1
12	Cou Sho an	家具製造	東かがわ市西村 1 3 9 3 - 1
13	タナベ刺繍	刺繍製造	東かがわ市西村 1 0 2 3
14	タナカ印刷	印刷業	東かがわ市大内 2 0 0 - 1 2
15	無地工房	漆器製造	東かがわ市大内 2 0 0 - 1 2
16	GENIUS	手袋製造	東かがわ市土居 1 0 5
17	日本ドルフィンセンター	イルカ飼育	さぬき市津田町鶴羽 1 5 2 0 - 1
18	桧原工業	靴製造	さぬき市大川町南川 168 番地
19	Tyrell	自転車製造	さぬき市寒川町神前 1 4 3 0 - 1
20	さぬきワイナリー	ワイン醸造	さぬき市小田 2 6 7 1 - 1 3
21	山西商店	下駄製造	さぬき市志度 5 3 8 2 - 3 3
22	飯田桃園	果物生産	さぬき市造田宮西 1 3 2 9 - 6
23	グッドワーク	ダンボール製品製造	さぬき市昭和熊田 1308-2

(飲食・宿泊 11 か所)

	表示名	業種	場所
26	アミーマンボス	宿泊	東かがわ市引田 4 3 7 3
27	マルタツ手打ちうどん	飲食	東かがわ市伊座 7 2 2
28	HOTEL AZ 香川東かがわ店	宿泊	東かがわ市伊座 7 2 2
29	炭火焼肉 味道源	飲食	東かがわ市三本松 6 8 0 - 6 9
30	ルトロヴァイユ	飲食	東かがわ市三本松 6 8 0 - 7 5
31	passo	飲食	東かがわ市三本松 6 8 0 - 1 9
32	東かがわ料理 魚源	飲食	東かがわ市三本松 1 1 7 6 - 1
33	産直カフェ 五名ふるさとの家	飲食	東かがわ市五名 1 4 0 0
34	じゃこ丸パーク津田 (松琴閣クアパーク津田)	宿泊	さぬき市津田町津田 松原地内
35	MOKO	飲食	さぬき市昭和 3 3 2 3 - 2

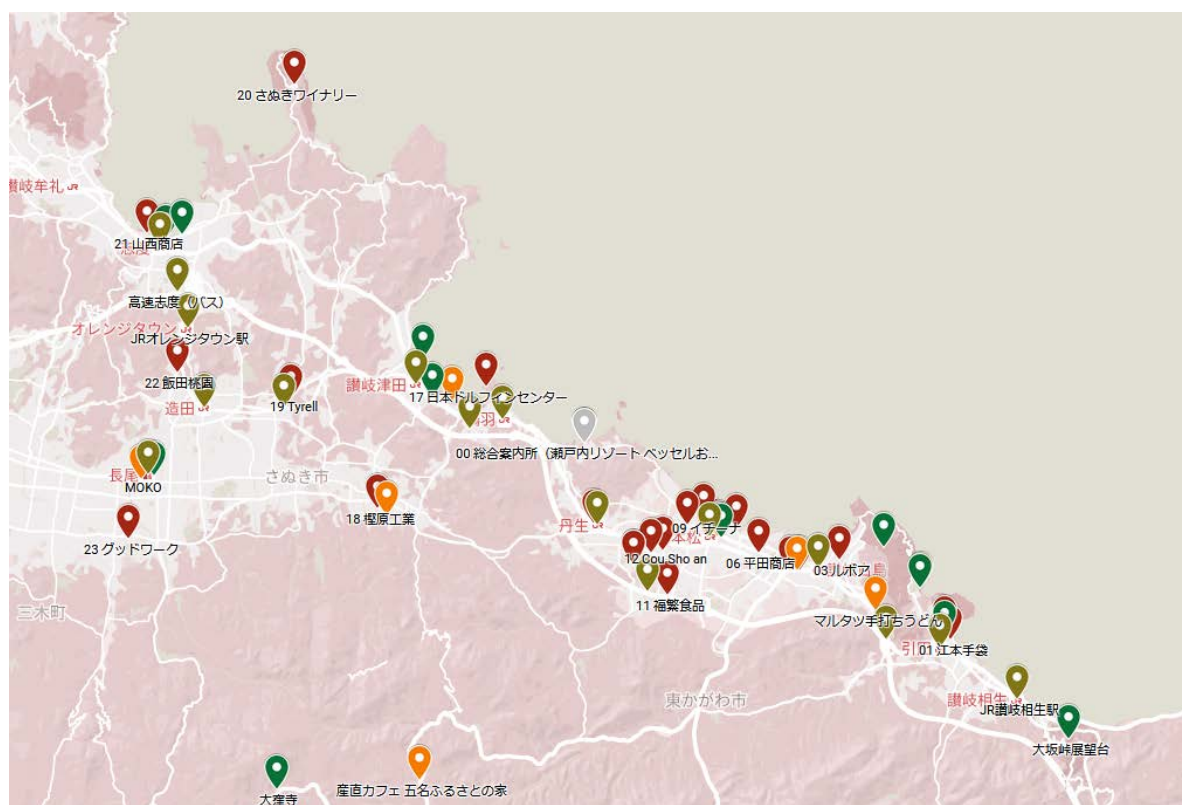
(観光・その他 12 か所)

	表示名	業種	場所
36	長谷ぶどう園みろく園地	飲食	さぬき市大川町富田中 3 2 7 8 - 1
37	しろとり動物園	観光拠点・その他	東かがわ市松原 2 1 1 1
38	讃州井筒屋敷	観光拠点・その他	東かがわ市引田 2 1 6 3

39	安戸池釣り場フィッシュフック	観光拠点・その他	東かがわ市引田 4 3 7 3
40	大坂峠展望台	観光拠点・その他	東かがわ市坂元
41	ぶり〜ず WORK	観光拠点・その他	東かがわ市三本松 6 8 0 - 1 5 3
42	津田の松原	観光拠点・その他	さぬき市津田町津田
43	平賀源内記念館	観光拠点・その他	さぬき市志度 5 8 7 - 1
44	志度寺	観光拠点・その他	さぬき市志度 1 1 0 2
45	大窪寺	観光拠点・その他	さぬき市多和兼割 9 6
46	うみの図書館	観光拠点・その他	さぬき市津田町津田 1 4 1 8
47	長尾寺	観光拠点・その他	さぬき市津田町津田 1 4 1 8

(交通拠点 16 か所)

	表示名	業種	場所
48	JR 讃岐相生駅	駅・交通拠点	東かがわ市南野 8 2 1 - 8
49	JR 引田駅	駅・交通拠点	東かがわ市引田
50	JR 讃岐白鳥駅	駅・交通拠点	かがわ市松原 6 5 0 - 5
51	JR 三本松駅	駅・交通拠点	東かがわ市三本松 1 1 5 2 - 3
52	JR 丹生駅	駅・交通拠点	東かがわ市土居
53	JR 鶴羽駅	駅・交通拠点	さぬき市津田町鶴羽
54	JR 讃岐津田駅	駅・交通拠点	さぬき市津田町津田 8 8 7 - 2
55	JR 神前駅	駅・交通拠点	さぬき市寒川町神前
56	JR 造田駅	駅・交通拠点	さぬき市造田野間田
57	JR オレンジタウン駅	駅・交通拠点	さぬき市志度
58	JR 志度駅	駅・交通拠点	さぬき市志度 4 8 8 - 2
59	ことでん 長尾駅	駅・交通拠点	さぬき市長尾西 5 4 8 - 1
60	高速引田 (バス)	駅・交通拠点	東かがわ市引田
61	高速大内 (バス)	駅・交通拠点	東かがわ市水主
62	高速津田 (バス)	駅・交通拠点	さぬき市津田町鶴羽
63	高速志度 (バス)	駅・交通拠点	さぬき市志度



【運行車輛の確保】

地域公共交通事業者の協力を得て、以下の通り、運行車輛を確保した。

			11/21 (火)	11/22 (水)	11/23 (木)	11/24 (金)	11/25 (土)
さぬき市 東かがわ市	合計	総台数	2	2	2	6	6
		乗用車	2	2	2	3	3
		ジャンボ				3	3
	事業者 A	乗用車	-	-	-	-	-
		ジャンボ				1	1
	事業者 B	乗用車	1	1	1	2	2
		ジャンボ				1	1
	事業者 C	乗用車	1	1	1	1	1
		ジャンボ				1	1

【予約受付】

予約受付専用サイトを開設し、「CRASSO 号」利用の予約を受け付けた。また、オペレーションセンターを開設し、オペレーターを配置し、予約専用電話による予約受付を下記の期間行うとともに、「チョイソコ」システムへの情報入力による利用者登録を行った。

オペレーターは、利用者とドライバーの連絡を取り持ち、利用者からの予約の確認、予約変更のドライバーの運行指示（タブレット経由）、利用者不在時のドライバーからの連絡受付と利用者への連絡確認等を行った。

予約受付期間：令和 5 年 11 月 6 日～11 月 25 日

（予約項目）

お申込み代表者氏名
メールアドレス
電話番号 1
電話番号 2（電話番号 1 が繋がらない場合ご連絡をさせていただきます）
乗車人数（申込者本人を含む）
ご利用日時
出発地点①
出発希望時間
目的地①

<次の目的地へ行かれる場合、以下ご入力ください。>

ご利用日時

出発地点②

出発希望時間②

目的地②

ご利用日時

出発地点③

出発希望時間③

目的地③

ご利用日時

出発地点④

出発希望時間④

目的地④

【運行計画】

前日 17 時時点での予約状況をもとに、運行車両毎に運行計画を作成し、タクシー事業者に連絡を行った。また、当日の電話予約や予約の変更等に対応して、ドライバーへの予約変更連絡及び運行指示（タブレット経由）、利用者不在時のドライバーからの連絡受付と利用者への連絡確認等を行った。

【地域交通事業者（タクシー事業者）への運行支援】

タブレットの利用マニュアル「ドライバー様向け チョイソコアプリの使い方」及び操作マニュアルビデオ映像を作成し、各運行事業者に提供した。



③ 広報

【広報用案内ちらし】

「CRASSO 号」利用案内ちらしを作成し、総合案内所をはじめ、オープンファクトリー開催拠点等の乗降地点で配布した。



**ご利用
無料**



CRASSO号

を運行します

四国最大級のオープンファクトリーイベント、CRASSO/2023vol.2が、11月23日（木）～25日（土）の3日間、香川県東讃地域において開催されます。

四国経済産業局では、来訪者の皆様に気持ちよくご移動いただくこと、地域住民の皆様様の日常生活を維持すること、これらの調和をはかるため、自治体・地域交通事業者・CRASSO実行委員会との連携のもと、「CRASSO号」の実証運行を行います。

イベント期間中に渋滞の発生などで地域の日常生活に支障をきたす恐れがないよう、メイン会場や各拠点等への移動には、「CRASSO号」を積極的にご利用ください。







運行情報

① 限られた運行車両での乗り合いによる完全予約制の送迎サービスです。
他の方のご予約状況と合わせてご希望の予約時間より多少前後する可能性があります。

運行日時 11月23日（木）～25日（土） 9時～17時

予約方法 電話（乗車30分前まで）、またはWEBサイト（前日17時まで）

- ◎電話予約の受付時間は、平日[※]の8:30～16:30まで。
（※ CRASSO開催期間中の23日～25日は受付可です）
- ◎WEBサイトの予約フォーム入力時点では、予約の確定ではありません。
ご予約が確定した段階で、ご入力いただいた電話番号もしくはメールアドレスに連絡します。



運行エリア さぬき市・東かがわ市

◎乗降可能スポットは、裏面をご確認ください。

<運行主体>
四国経済産業局（令和5年度 無人自動運転等の先進 MaaS 実証加速化推進事業）
受託先：株式会社ダン計画研究所



乗降可能スポット

	東かがわ市	さぬき市			
オープンファクトリー	00 CRASSO総合案内（ベッセルおうち） 01 江本手袋 02 かめむし屋 03 ルボア 04 hacomo 05 Kawa-wa 06 平田商店 07 ドラゴン 08 アーバンエッジ 09 イチナ 10 全新 11 福和食品 12 Cou Shou an 13 タナベ刺繍 14 タナカ印刷 15 豊地工業 16 GENIUS	18 豊和工業 19 Tyrell 20 さぬきワイナリー 21 山西電気 22 新田機油 23 グッドワーク			
	※今回のCRASSO号では 24 桂川木工業、25 テル定エンタープライズ（三木町）は運行エリア外になります。				
	飲食・宿泊	アミーゴス マルタ手打ちうどん HOTEL AZ 香川東かがわ店 炭火焼肉 藤吉屋 ルトラヴィユ PASSO 豊かがわ経産 魚道 産業カフェ 五名ふるさとの家	じゃこ丸パーク津田（松野園クアパーク津田） 長谷がどう園みらくる園地 MOKO		
		観光・その他	しとろ動物園 讃州井筒屋敷 安芸的りてフィッシュフック 豊田八幡宮 大坂神楽堂 ぶり〜すWORK	日本ドルフィンセンター 津田の松原 平林海内記念館 志摩寺 大徳寺 長尾寺 うみの図書館	
			駅・交通拠点	JR讃岐生駒駅 JR引田駅 JR讃岐白鳥駅 JR三本松駅 JR内子駅 高津引田（バス） 高津大内（バス）	JR高松駅 JR讃岐津田駅 JR神前駅 JR津田駅 JRオレンジタウン駅 JR志摩駅 ことでん 長尾駅 高津津田（バス） 高津志度（バス）
				 訪問場所の詳細情報 訪問場所（オープンファクトリー、飲食・宿泊）の詳細情報は、CRASSO公式HPをご覧ください！  アンケート回答 CRASSO号乗車後には、アンケート回答へのご協力をよろしくお願い致します。	

【予約受付サイト】

ドメイン「<https://shikoku-mobility.go.jp>」を取得し、予約受付サイトならびに、利用案内ページを作成した。

(3) ノマドワーカー等新たな交流人口モデル検証

① モデル検証の概要

ノマドワーカーなど新たな交流人口のモデル検証として、調査期間中に3名程度のクリエイティブ人材等を一定期間（3時間×3日以上）香川県東讃地域に滞在させ、交通環境等に関するニーズ調査を行った。

【モニター（滞在したノマドワーカー）の属性】

滞在日			
11/21	男性・40歳代	事業開発	愛媛県在住
11/22～23	男性・20歳代	ITコンサルティング業	岡山県在住
11/21～23	女性・20歳代	グラフィック、ウェブ・デザイナー	大阪府在住
11/21～23	女性・20歳代	グラフィック・デザイナー	愛媛県在住

【訪問地点】

ノマドワーカーは宿泊施設「じゃこ丸パーク津田（松琴閣クアパーク津田）」に宿泊し、同施設を拠点として、周遊・滞在した。

（飲食・宿泊施設）

* じゃこ丸パーク津田（松琴閣クアパーク津田）

* マルタツ手打ちうどん

* passo

（観光・その他）

* 津田の松原

* しろとり動物園

* ぶり～ず WORK（コワーキングスペース）

* アミーマンボス（コワーキングスペース）

* うみの図書館（コワーキングスペース）

（オープンファクトリー）

* 生新

* イチーナ

* 福繋食品

（交通拠点）

* JR 三本松駅

② インタビュー調査

滞在最終日に参加モニターに対して、グループ・インタビュー調査を行った。

ノマドワーカーにとって瀬戸内海に面したロケーションは魅力的であるが、当地で働くためのインフラ環境（ワークスペース）は不十分だと捉えられており、コワーキングスペースの設備等に関する細かな情報提供（利用時間・料金、Wifi 環境、電源、オンライン打合せの可否等）等も必要との指摘があった。

【グループ・インタビューでの主な意見】

（東讃地域のロケーション、ワーケーションの可能性等）

- * 普段、コワーキングスペースを利用しているが、決まった施設を利用することが多く、他の人と関われる機会や出会いが作れたのは、すごく良かった。
- * 山と海が近く、景色がとても綺麗だったのが印象的だった。自然の近くで働いているというのが、普段とは違ったロケーションですごく心地よかった。
- * 滞在期間中は、仕事と観光で、自身の切り替えをしながら過ごした。午前中に仕事、午後、観光で気分転換する時間を取りながら、夜、宿に戻って、仕事をするようなリズムで過ごした。白鳥動物園にも行けて楽しかった。
- * ロケーションは、宿泊した宿も含めて、海も近く、よい環境だと思った。
- * 海好きで、着いた瞬間にとってもテンションが上がった。海もとても綺麗で、大阪に比べて空の広さも全然違う、非日常感をすごく感じた。宿の食事もとても美味しかったのも印象的。
- * 海のそばで仕事できる施設などがあり、泊まれる施設があれば、その景色に惹かれて訪問したいというノマドワーカーも増えるのではないかなと思う。ただ、コワーキングスペースの予約はフレキシブルに対応してほしい。前日電話して使いたいということもあるし、急に会議が入った時にオンタイムで空いているところが見つけられたら理想。
- * ゲストハウス的なところがあれば、来やすいように思う。1週間程度滞在するのであれば、ホテルより、素泊まりの方がいいように思う。

- * 「うみの図書館」のある津田の周辺は、大阪や東京からの移住者も多いらしいという話を管理人の方からも聞け、そうした人たちが集うカフェに連れていってもらった。カフェでは移住してきた人のコミュニティができていて、津田でプロジェクトに取り組まれている様子も感じられた。熱量の高い人がいることもわかり、交わることもできたことがすごく良かった。
- * 初対面のおじいちゃんが焼き芋を分けてくれたこともあり、人が優しい街だなという印象を受けた。

- * 仕事に関しては、もうすこしコワーキングの場所があればいいと思った。また、その施設内の写真などが見られれば、どういう場所かイメージもしやすくて良い。

- * 東かがわが手袋の産地ということを知らなかった。オープンファクトリーに参加して、幅広い商品開発をされているのを見聞きし、手仕事のものづくり現場やワークショップ等を体験することもできてよかった。デザインやクリエイティブも AI が隆盛するなかで、考えさせられた。
- * ワークショップは、予約でいっぱいだったが、受け入れてもらえ、体験できて良かった。

(コワーキングスペース等、仕事をする環境)

- * コワーキングスペースもオープンファクトリーもこちらから情報を取りに行かないとなかなかたどり着けないという印象があって、スケジュールを組むときに、結構調べる必要があった。
- * もともとの仕事のスケジュールがある中で、営業時間や予約方法の制約があり、少しスケジュールを組みにくいと感じた。
- * コワーキングスペースでウェブ会議をすることもあり、個室があるとなおよいと思った。
- * どのコワーキングスペースもアットホームに対応してもらえたが、電話での受付対応だと今回のような小人数であれば対応できるが、来訪者が増えた時は難しいのではないか。
- * Wi-Fi の有無だけでなく、コンセント数や付属設備情報も事前に確認できればよい。
- * 予約できる時間帯や営業時間が示されていて、予約できるフォームがあれば、仕事のスケジュールを組み合わせてどこかへ訪問したいと考えた時にすぐ利用できるのでもいいかなと思う。
- * フリードリンクがあるのは、ありがたい。
- * ある程度、会議などの仕事の予定を決めて訪れることになるので、来てみてオープンしていないと困ってしまった。緊急にホテルで滞在して、対応した。
- * 地域全体では、コワーキングスペースが少ない。また、ホテルも少ないので、働く場としてのリソースの充実、環境整備がまずは、求められる。重要な会議も控えているようなことから、ウェブ会議をする際には、常に不安があるような状態だった。
- * 逆に、離島のほうが整っている印象も受ける。東讃地域は、田舎すぎるのではなく、やや中途半端な印象も受ける。コワーキングの整備が一箇所でも進めば、そこが拠点になる可能性もある。
- * この地域に来て、仕事をする人にとっての最低限のインフラは整えておかなければ、ノマドワーカー等の誘致は難しい。

(CRASSO 号について)

- * 急な予定の変更に対ししても、電話で対応したオペレーターの方がスムーズに対応してもらえてありがたかった。
- * 宿から、夜、食事に出ようとする 7 時頃には、運行の制約もあるのだと思うが、利用できない時間帯だった。仕事が一段落した夕方から夜にかけて、利用できるとうよいと思った。

*とても仕事はしやすかったが、こうした移動のサービスは、ずっとあるわけものでもない
ので、車で来ていなければ、動きにくいようには思う。

(他のワーケーションで注目する地域)

*淡路島では、いろいろと取り組まれている。

*しまなみ海道のエリアは、コワーキングにも力をいれており、松山から訪れる人も多い。
東かがわと似ていて、山と海が近くて、海のところで宿泊とコワーキングが一緒になった
スペースがあり、県外や松山市内の人がりフレッシュしながら仕事先を選んだりしてい
る。

*ロケーションも大事だし、スケジュールを立てやすいような情報へのアクセスや対応が大
事。

*アドレスホッパーが、地元の人との交流から仕事を生み出し、コミュニティをつくって地
域創生に取り組む例もある。離島では、松山市の興居島、中島などは、そうした取り組み
を積極的に進めている。(https://matsuyama-kurashi.com/satoshima/)

<調査結果の考察>

ノマドワーカーにとって、瀬戸内海に面した東讃地域のロケーションについては、非常に
魅力的であり、高い評価が得られた。一方で、働く際に重視されるワークスペースについて
は、徐々に増えつつある状況ではあるが、地域全体で見るとまだまだ少なく、数量の確保と
ともに、通信環境、多様なスペース・スタイルといった機能の拡充も求められている。

また、事前に得られるワークスペースの情報の有無や解像度が、行先の選択を左右するこ
とになる。ウェブサイト等を通じて詳細情報を含めた情報がしっかりと届けられることが望
まれる。また、ワークスペースのウェブ予約システム等を整えるべきとの指摘もあるなど、
質的にもサービスの充実も求められる。

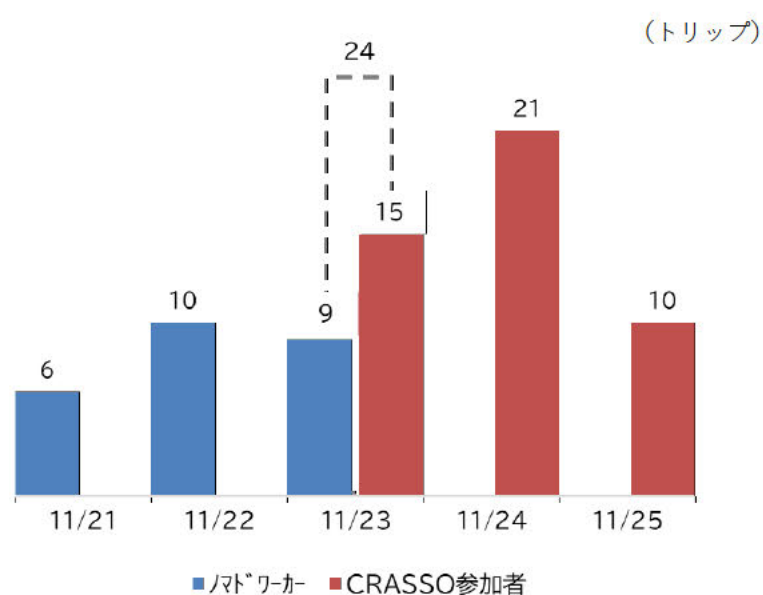
交通環境については、移動に対する利便性や確実性が求められるなかで、「CRASSO号」
のようなサービスが定常的に展開されていれば非常に有用。一方、定常的に展開されていな
い状況下では自家用車が必須となり、自家用車を持っているノマドワーカーにターゲットが
限定されてしまうことになる。

(4) 利用実績

実証調査期間中の「CRASSO 号」の利用実績について、以下の通り整理した。

【利用トリップ数】

	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25
ノマドワーカー	6	10	9		
CRASSO 参加者			15	21	10
合計	6	10	24	21	10



【総乗車人員（上段） / 相乗り率（下段）】

	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	合計・平均
ノマドワーカー	8	10	9	—	—	27
	1.33	1.00	1.00	—	—	1.08
CRASSO 参加者	—	—	23	37	15	75
	—	—	1.53	1.76	1.50	1.63

【利用者数・1人当たりトリップ数】

	利用者数	1人当たりトリップ数
ノマドワーカー	4 人	6.25
CRASSO 参加者	16 人	2.88
合計	20 人	3.55

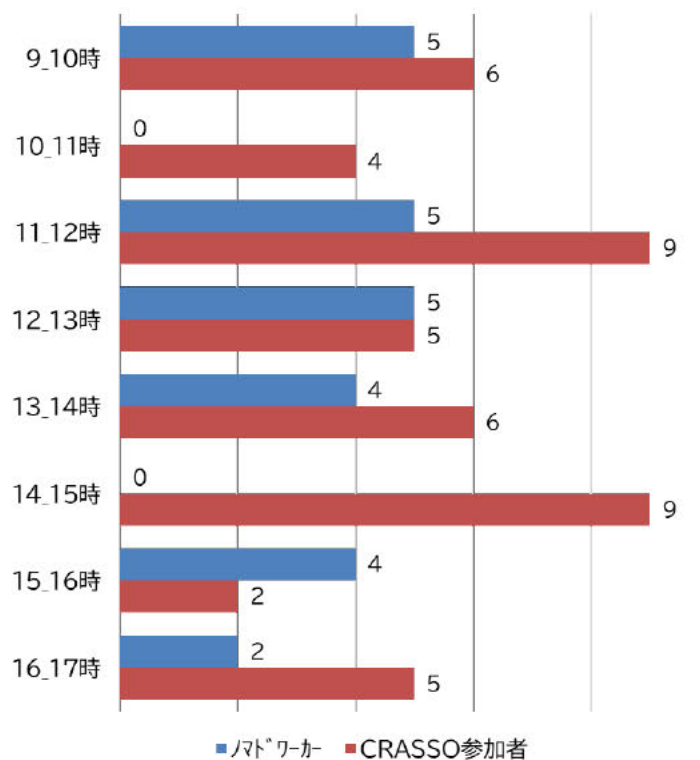
【利用トリップ数】

	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25
ノマドワーカー	6	10	9		
CRASSO 参加者			15	21	10
合計	6	10	24	21	10

【時間帯別トリップ数】

	ノマドワーカー	CRASSO 参加者
9_10 時	5	6
10_11 時	0	4
11_12 時	5	9
12_13 時	5	5
13_14 時	4	6
14_15 時	0	9
15_16 時	4	2
16_17 時	2	5
合計	25	46

(トリップ)



(ノマドワーカー)

	11/21	11/22	11/23
9_10 時	0	2	3
10_11 時	0	0	0
11_12 時	4	0	1
12_13 時	0	2	3
13_14 時	2	2	0
14_15 時	0	0	0
15_16 時	0	4	0
16_17 時	0	0	2
合計	6	10	9

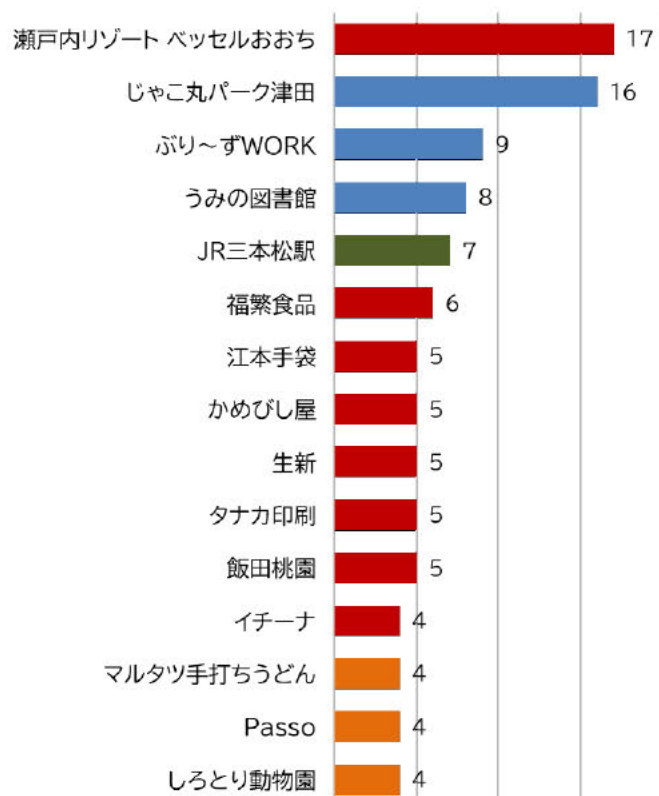
(CRASSO 参加者)

	11/23	11/24	11/25
9_10 時	1	4	1
10_11 時	1	1	2
11_12 時	1	7	1
12_13 時	3	1	1
13_14 時	2	3	1
14_15 時	4	1	4
15_16 時	1	1	0
16_17 時	2	3	0
合計	15	21	10

【乗降地点】

	トリップ数
瀬戸内リゾート ベッセルおおち	17
じゃこ丸パーク津田	16
ぶり〜ず WORK	9
うみの図書館	8
JR 三本松駅	7
福繁食品	6
江本手袋	5
かめびし屋	5
生新	5
タナカ印刷	5
飯田桃園	5
イチーナ	4
マルタツ手打ちうどん	4
Passo	4
しろとり動物園	4

(トリップ)



(5) 利用者アンケート調査結果

利便性や採算性を検証できるよう、調査期間中の利用者に対してアンケート調査を実施した。回答数は17となっている。

【「CRASSO 号」の取組みについて】

「CRASSO 号」は、来訪者に気持ちよく移動してもらうこと、地域住民の日常生活を維持すること、これらの調和をはかるために、四国経済産業局が運行主体となり、自治体・地域交通事業者・CRASSO 実行委員会が連携して運行した。

①CRASSO 号の利用は、自家用車等で周遊するより不便だったかもしれませんが、受容できますか。

- ☐ 受容できる
 ☐ やや受容できる
 ☐ あまり受容できない
☐ まったく受容できない
 ☐ わからない

選択肢	回答数	構成比
受容できる	13	76.5%
やや受容できる	3	17.6%
あまり受容できない	0	0.0%
まったく受容できない	1	5.9%
わからない	0	0.0%

②CRASSO 号が有料サービスとなった場合、利用料金はいくら程度が適当だと思われますか。

- ☐ 100 円程度（1 区間あたり）
 ☐ 500 円程度（1 区間あたり）
☐ 1000 円程度（1 区間あたり）
 ☐ それ以上（ ）円程度（1 区間あたり）
☐ 一日定額での使い放題 （ ）円程度

選択肢	回答数	構成比
100 円程度（1 区間あたり）	0	0.0%
500 円程度（1 区間あたり）	6	35.3%
1000 円程度（1 区間あたり）	1	5.9%
それ以上	0	0.0%
一日定額での使い放題※	10	58.8%

※「500～600 円」、「1,000 円」（4）、「1,500 円」、「2,000 円」

③地域でオーバーツーリズム問題を起こさないため CRASSO 号のようなモビリティサービスは必要だと思いますか。

- ☐ とても必要だと思う ☐ やや必要だと思う
☐ あまり必要だと思わない ☐ まったく必要だと思わない ☐ わからない

選択肢	回答数	構成比
とても必要だと思う	9	52.9%
やや必要だと思う	8	47.1%
あまり必要だと思わない	0	0.0%
まったく必要だと思わない	0	0.0%
わからない	0	0.0%

④CRASSO 実行委員会など、地域企業が公共交通に関与することについてどう思いますか。

- ☐ とても大切なことだと思う ☐ やや大切だと思う
☐ あまり大切だと思わない ☐ まったく大切だと思わない ☐ わからない

選択肢	回答数	構成比
とても大切なことだと思う	15	88.2%
やや大切だと思う	1	5.9%
あまり大切だと思わない	0	0.0%
まったく大切だと思わない	0	0.0%
わからない	1	5.9%

⑤地域との調和を目指し、地域課題、社会課題の解決に関与しようとする企業のことを応援したいですか。

- ☐ とても応援したい ☐ やや応援したい
☐ あまり応援したいと思わない ☐ まったく応援したいと思わない
☐ わからない

選択肢	回答数	構成比
とても応援したい	17	100.0%
やや応援したい	0	0.0%
あまり応援したいと思わない	0	0.0%
まったく応援したいと思わない	0	0.0%
わからない	0	0.0%

【「CRASSO 号」の利用について】

①「CRASSO 号」のことをどこで知りましたか。（複数回答可）

- ☐WEB サイト（WEB サイト名： _____）
☐SNS
☐出展者から案内
☐知人、友人の紹介
☐CRASSO/2023 ガイドブック
☐CRASSO 号ちらし
☐その他のメディア（ _____）

選択肢	回答数	構成比
WEB サイト※	6	35.3%
SNS	0	0.0%
出展者から案内	6	35.3%
知人、友人の紹介	8	47.1%
CRASSO/2023 ガイドブック	1	5.9%
CRASSO 号ちらし	2	11.8%
その他のメディア	0	0.0%

※「CRASSO の HP」、「四国経済産業局」

②「CRASSO 号」で利用した区間数（乗車回数）を教えてください。

- ☐1 区間
 ☐2 ～ 3 区間
 ☐4 区間以上

選択肢	回答数	構成比
1 区間	4	23.5%
2 ～ 3 区間	8	47.1%
4 区間以上	5	29.4%

③予約方法

- ☐ウェブサイト
 ☐電話

選択肢	回答数	構成比
ウェブサイト	11	64.7%
電話	6	35.3%

④「CRASSO 号」を利用した理由を教えてください。（複数回答可）

- ☐ 訪問先まで便利に、スムーズに移動できそうだったから
☐ 訪問先への行き方や駐車場の有無がわからないから
☐ 無料で利用できるから
☐ 自家用車・レンタカー等を利用できなかったから
☐ 観光交通の地域への負荷を減らし、住民等の生活に迷惑をかけたくないため
☐ その他（ ）

選択肢	回答数	構成比
訪問先まで便利に、スムーズに移動できそうだったから	9	52.9%
訪問先への行き方や駐車場の有無がわからないから	7	41.2%
無料で利用できるから	10	58.8%
自家用車・レンタカー等を利用できなかったから	5	29.4%
観光交通の地域への負荷を減らし、住民等の生活に迷惑をかけたくないため	0	0.0%
その他	1	5.9%

⑤「CRASSO 号」を利用した感想を教えてください。

- ☐ とても良かった ☐ 良かった ☐ 普通
☐ あまり良くなかった ☐ 良くなかった

選択肢	回答数	構成比
とても良かった	9	52.9%
良かった	6	35.3%
普通	2	11.8%
あまり良くなかった	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%

⑥CRASSO 号をご利用になって、改善したほうがよいと思われた点・サービス内容があれば、ご記入ください。（広報、予約方法、経路、待ち時間、到着時間等）

<とても良かった>

○最初の一区間は WEB 予約、以降は電話予約しました。

最終体験場所から 帰りの予定駅までが予約でいっぱいとのことで調整できず 徒歩で最寄り駅へ向っている途中、キャンセルがあったとの連絡があり引き返してタクシー待ちをして当初予定の駅まで帰るということがありました。

やはり 帰りの時間帯での利用が集中したのかと思いました。

乗り合わせた他のグループの方ともお話ができて 非常に楽しかったです。

○予約制のパターンと定期巡回バスみたいなものがあると便利

○短時間の滞在後に移動のため再度申込するのが申し訳なかった。その場合、待ち時間も長かった。予約と定期便のハイブリッドがいい。

○地域外からの日帰りでの訪問でしたが、CRASSO 号のおかげで、とてもスムーズに廻ることができました。

車を運転しないため、とてもありがたかったです。ただ、スムーズに廻るためには、事前に自分自身でしっかり情報収集、行程作成が必要でした。

当日訪問できる場所且つ行きたい場所のピックアップ、ワークショップなどの開催時間の確認、訪問先から次の訪問先への所要時間の確認（地域外なので、位置関係、距離もよくわからない）、ワークショップなどの予約手配など。こうした情報も一緒に確認、手配できれば、より利便性は高まるかと思いました。

ただ利便性が高まればその分コストもかかることは想定できますので、コストや時間的制約の中でどこまで利便性を高めるかは、バランスをうまくとる必要があるのだろうと思います。

経路は、地域外の者なので、適正だったかはわかりませんが、問題なかったように思います。待ち時間も特に気になりませんでした。

○カテゴリー選択など予約方法が少しわかりにくかった。

<良かった>

○終わりの時間が決まっていないので、タクシーをお待たせするか、自分たちが待つかなるので、お互いロスタイムになりがちなのかな？と思われます。訪問先企業とタクシーがもっと連携していくことである程度解決するのかもしれませんが、その場合、受け入れ企業側の負担も増えますので難しいでしょうか。

○地域の施設の営業時間や施設の設備情報、CRASSO 号の予約方法などがわかるようなサービス（WEB アプリなど）が一目でわかるような形であれば使いやすかったです。

○CRASSO 号の予約と工場の案内時間をあわせるのが手間なのと、土地勘が無く移動に要する時間がわからないため、予約の予定が組みにくかった。

○現状でよいと思う

○ありがとうございました。11 月 23 日に利用しました。

2 回まではスムーズに予約できましたが、午後は流石に混んでいて時間が合いませんでした。今後もこの地でオープンファクトリーをやる上では絶対に必要だと思います。

<普通>

○訪問企業の見学時間が予定より前後することがあるので、できるだけ柔軟に時間変更してもらえるとありがたいです。

○運転手に対する事前教育が必要。

【ご自身について】

①お住まい

- ☐ 東讃地域（東かがわ市、さぬき市、三木町内）
 ☐ それ以外の香川県内
☐ 徳島県
 ☐ 愛媛県
 ☐ 高知県
☐ 岡山県
 ☐ その他都道府県（ ）

選択肢	回答数	構成比
東讃地域（東かがわ市、さぬき市、三木町内）	3	17.6%
それ以外の香川県内	5	29.4%
徳島県	0	0.0%
愛媛県	3	17.6%
高知県	0	0.0%
岡山県	2	11.8%
その他都道府県※	4	23.5%

※「大阪府」（2）

②性別

- ☐ 男性
 ☐ 女性
 ☐ 回答しない

選択肢	回答数	構成比
男性	11	64.7%
女性	6	35.3%
回答しない	0	0.0%

③年齢

- ☐ 10代以下
 ☐ 20代
 ☐ 30代
 ☐ 40代
 ☐ 50代
 ☐ 60代
 ☐ 70代以上

選択肢	回答数	構成比
10代以下	0	0.0%
20代	3	17.6%
30代	3	17.6%
40代	7	41.2%
50代	3	17.6%
60代	1	5.9%
70代以上	0	0.0%

④東讃地域までのアクセス交通手段（複数選択）

☐電車 ☐高速バス ☐タクシー ☐レンタカー ☐自家用車 ☐その他

選択肢	回答数	構成比
電車	6	35.3%
高速バス	2	11.8%
タクシー	0	0.0%
レンタカー	0	0.0%
自家用車	9	52.9%
その他	0	0.0%

⑤東讃地域への訪問の有無

☐初めての訪問 ☐複数回来訪 ☐地元

選択肢	回答数	構成比
初めての訪問	3	17.6%
複数回来訪	11	64.7%
地元	3	17.6%

<利用者アンケート調査結果の考察>

利用者アンケート調査結果では、自家用車での来訪に比べて少々不便を強いることになる「CRASSO 号」の利用について、受容性は許容されており、また、「訪問先までスムーズに移動」できることが利用理由にあげられているなど、一定の利用ニーズがあることが確認された。一方で、「無料で利用できるから」という理由が最多回答となっており、利用の大きなインセンティブとなっている。仮に、有料サービスとなった場合の適正料金は、「500 円程度（1 区間あたり）」や安い価格帯での「一日定額料金」が希望されている。運行に要した車輛の借上げ料金、デマンド型交通サービス・システムの利用料金、オペレーションセンターの運営費用等と比較して、現状の利用実績では収支を合わせるのは難しく、CRASSO 事業者、自治体、利用者等がバランスよく負担していくことが求められる。

（６）一般住民向けの地域公共交通の実態把握に向けたヒアリング調査

一般住民向けの地域公共交通の実態把握のために、自治体（東かがわ市、さぬき市）、「CRASSO 号」の運行に協力した公共交通事業者３社、CRASSO 実行委員会事務局に対してヒアリング調査を実施した。

現状の地域公共交通政策での高齢者等の交通弱者を対象とした生活交通の支援と、観光イベント等に対する短期的な交通施策を地域住民の理解を得ながら、自治体として展開していくことは難しい側面もある。一方で、人口減少に伴う需要の減少、ドライバーの高齢化及び不足など、厳しい事業環境にあるタクシー事業者にとって、新たなビジネス機会となる観光・イベント等に対応した交通サービスの提供については、要請があれば歓迎したいという意識も大きい。

地域交通事業者とイベント主催者を中心とした、新しい観光交通に対応したモビリティサービスを拡充していくことで、地域タクシー事業者の経営改善にも寄与し、生活交通も含む持続的な地域づくりにつながるものと考えられる。

「CRASSO」により誘発される「観光需要」を新たな商機として認め、タクシー事業者も経営基盤強化にも寄与。タクシー事業者との連携をはかりながら、地域企業がモビリティという地域の社会課題に寄与することで、オープンファクトリー「CRASSO」のさらなるブランディング（地域貢献）を推進していくことが想定され、それを自治体・四国経済産業局等が後押ししていくという体制づくりが方向性として考えられる。

<自治体ヒアリング>

（地域公共交通施策について）

- * タクシーチケット実証実験等により、タクシー利用の需要を喚起。今後、一層の人口減少が進むなかで、タクシー需要がさらに縮減することを懸念。
- * 地域公共交通の担い手、生活の足として、タクシー事業者の存続が重要な課題。タクシー事業者は地域の移動への貢献に対する使命感を持ちながら、事業を展開している。
- * タクシーチケット実証実験に取り組んでいるが、利用申請はするが実際の利用をしないという方も多い。タクシー事業者への運賃補填的な意味合いもあり、事業者の意欲向上にもつながればという意図もある。
- * デマンド型交通サービスの実証実験も検討したが、実証エリアが限られ、他エリアから反発の声もあった。タクシー会社にとって既存顧客向けの運行に影響を与える可能性があるため、体制づくりができないだろうと予測していた。
- * コミュニティバスの利用は増えているが、デマンドタクシーは苦戦している。利用者は、電話予約等が手間に感じているのかもしれない。PR も考えているが、デマンドタクシーの利用が増えると、既存のタクシー利用が減るのではないかと懸念の声をタクシー事業者から聞いている。

（生活交通、観光交通への対応について）

- * 地域公共交通政策として取り組む生活交通への施策では、継続性が問われるが、観光交通を対象とすれば短期的な対応も可能。ただ、観光に寄りすぎてはいけないとも言われている。
- * 地域住民のタクシー利用について、これまでの実証実験等で、土日の利用が望めないことがわかっている。休日については、仕事を確保していくべきという話をしており、その時のターゲットは観光客やイベントになる。これまでも市からまずはやってみようと働きかけていたので、協力してくれた事業者もあったのではないかな。
- * 事業者にとっては、これまで想定していなかったターゲット層を知るきっかけにもなったと思う。そうした意味でも、今回の実証調査事業に参加いただけてよかった。

（「CRASSO 号」運行の今後に与える影響について）

- * 「CRASSO 号」に継続して取り組み、それが浸透していくことで、利用率も上がってくるように思う。事業者側もチャンスと思ってくれるとありがたい。
- * イベント集客等にもなう観光交通への対応も重要であるが、担当する部局が異なる。地域公共交通の維持という立場からすると今回の「CRASSO」のようなイベントに伴う移動への対応は難しく、地方創生・地域振興という文脈での施策を考える必要がある。
- * 地域公共交通の閉塞感に風穴をあけるかもしれない、地域企業の取組に期待。タクシー事業者も民間企業体であり、CRASSO 実行委員会の企業との連携の可能性もあるだろう。両者にとってメリットのある関係が築ければ理想的に思う。

<公共交通事業者ヒアリング>

（日常のタクシー利用等）

- * 平日の午前中を中心に病院、買い物利用の高齢者、特に女性の利用がほとんどを占めている。コロナの影響も受けたが、今度、一層の地域人口の減少が進むなかで、需要の減少が大きな懸念材料となっている。
- * 休日の利用者は現状ではごく少数にとどまっている。駅構内での客待ちにも対応しているが、効率は決してよくない。
- * 地域公共交通を担う機関の一員、「地元の人の足」を確保する存在だと自覚して運行している。
- * 自治体のタクシーチケット事業によって一時的に利用が増えるが、地域の新規顧客の開発までには至っていない。
- * 各タクシー事業者は、エリアで棲み分けをしながら共存。主に地域の高齢者に対し、平日の生活の足（通院、買い物等）を提供。

（経営基盤等）

- * 運転手の確保には苦勞しており、経営面での改善や社員の待遇改善を進めていくことが必要となる。

- * 手書きでの顧客管理等、業務における IT 導入にも遅れ。
- * 運転手の確保等に向けた待遇改善に注力しており、後継者育成も重要な課題。

(観光交通への対応の意識)

- * 観光客の増加やイベント等の開催による利用者増は歓迎したいし、「CRASSO 号」のような新たな収入源となる取組みには期待しているが、既存の地域の顧客に向けたサービスとのバランスはとっていきたい。地域の顧客に支えられて事業が成り立っており、しっかりと貢献していきたいと考えている。
- * 「CRASSO 号」の運行について、中身がよくわからないという不信感も一定存在。個別の声がけではなく、全体での説明会があってもよかったと思う。

<CRASSO 実行委員会事務局ヒアリング>

- * オープンファクトリー「CRASSO」への来訪者数は延べ 1500 名程度。ほぼ、当初想定していた通りで、一定の集客が図れられたと理解している。
- * 今回は、工場や工房見学やワークショップへの参加は、事前予約制としたが、参加者、出展者双方から改善の意見も聞いているので、次回の開催では、事前予約はない方向で検討している。
- * 駐車場を持たない事業者もあったが、ある程度、公共駐車場を利用したように推測される。当初想定していたオーバーツーリズムに伴うトラブルや苦情の声は特になかった。
- * 出展企業自身が CRASSO 号の利用を進めていけば、利用も伸びたのではないかと思う。
- * 予約できる時間帯や営業時間が示されていて、予約できるフォームがあれば、仕事のスケジュールを組み合わせでどこかへ訪問したいと考えた時にすぐ利用できるのでもいいかなと思う。

Ⅱ. 「スマートモビリティチャレンジ地域シンポジウム in 四国」

◆日時：2024 年 2 月 16 日（金） 14：00～16：45

◆会場：情報通信交流館 eーとぴあ・かがわ「BB スクエア」（定員 50 名）
高松市サンポート 2－1 高松シンボルタワー タワー棟 5 階 ※ハイブリッド開催

◆プログラム：

- | | | |
|---|----------------------------------|-------------|
| 1. 開会あいさつ | 四国経済産業局 | 14：00 |
| 2. 基調講演『人々をつなぐモビリティの可能性』 | | |
| | 一般社団法人グローバル交流推進機構（GLeX） 理事長 土井 勉 | 14：05 |
| <休憩> | | 15：05 |
| 3. 事例紹介 | | 15：10 |
| | ○「自動運転技術導入に向けた岐阜市の取り組み」 | 15：10～15：30 |
| | 岐阜市 都市建設部 交通政策課 交通施策推進係長 木股 雅仁氏 | |
| | ○「移動×人材交流による交流型モビリティ実験」 | 15：30～15：50 |
| | 合同会社うさぎ企画 代表 森田 創氏 | |
| | ○「共助で作る、あたらしいまちの交通」 | 15：50～16：10 |
| | 暮らしの交通株式会社 代表取締役 田島 颯氏 | |
| | ○「おでかけ困難解消によるフレイル予防」 | 16：10～16：30 |
| | ネットトヨタ瀬戸内株式会社 モビリティ事業部 部長 大石 一浩氏 | |
| 4. スマートモビリティ「CRASSO 号」運行実証調査報告（ダン計画研究所） | | 16：30 |
| 5. 閉会 | | 16：40～16：45 |
| 6. 名刺交換会 | | 16：45～17：15 |

※「スマートモビリティ「CRASSO 号」運行実証調査報告」の発表時間は、当初 30 分程度の予定であったが、事例紹介において、四国外の好事例のみならず、四国管内での取組についても紹介できるよう、四国経済産業局と協議の上プログラムを構成したところ、当初の予定より短い約 10 分となった。

◆参加者数：会場参加 26 名、オンライン参加 89 名、計 105 名



(基調講演『人々をつなぐモビリティの可能性』一般社団法人グローバル交流推進機構 (GLEX) 理事長 土井 勉氏)



(事例紹介「自動運転技術導入に向けた岐阜市の取り組み」
岐阜市 都市建設部 交通政策課 交通施策推進係長 木股 雅仁氏)

【「足づくり」事例】静岡県東伊豆町・交流型モビリティ「INAZUMA SHUTTLE」

○伊豆稲取駅3キロ圏の36箇所の停留所をオンデマンドで走行するワゴン車（10人乗り）
○英会話カフェやスマホ教室など40本のイベントと連携、交流と移動の相乗効果をねらう

オンデマンド交通実験

INAZUMA SHUTTLE
ON-DEMAND

定員10人 11m10cm×12m27cm
運行時間 4月1日～11月30日まで運行 11月～3月休止
料金 乗車料 大人100円 小児50円 回数券あり
予約方法 電話・アプリ・Web
電話で 予約受付 0557-65-6305
予約受付 0557-65-6306
予約受付 0557-65-6307

(「移動×人材交流による交流型モビリティ実験」合同会社うさぎ企画 代表 森田 創氏)



（「共助で作る、あたらしいまちの交通」 暮らしの交通株式会社 代表取締役 田島 颯氏）



（「おでかけ困難解消によるフレイル予防」
ネットヨタ瀬戸内株式会社 モビリティ事業部 部長 大石 一浩氏）



（４．スマートモビリティ「CRASSO 号」運行実証調査報告
CRASSO 実行委員会 田中英城氏 株式会社ダン計画研究所）

(基調講演『人々をつなぐモビリティの可能性』一般社団法人グローバル交流推進機構
(GLEX) 理事長 土井 勉氏)

<配布資料>

1

スマートモビリティ・チャレンジ・シンポジウム
in 四国

人々をつなぐモビリティの可能性

2024年2月16日
(一社)グローバル交流推進機構
NPO法人 再生塾
公共交通のトリセツ

土井 勉
doi@issr-kyoto.or.jp

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

2

すごく簡単な自己紹介

今回、時間の関係で省略した件について

・2018年6月～日本経済新聞:やさしい経済学:「人口減少時代の公共交通」1～8

・地方ローカル線の再生＝上下分離方式について:JBpress「近江鉄道線上下分離血風録」1～14

ご参考まで:それぞれ検索すると出てきます

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

3

構成

1. 地域のお困りごと
2. 公共交通の価値・役割
3. 人口減少でも利用促進
4. 共創で支える
5. 評価の指標:クロスセクター効果という考え方
6. 今そこにある危機、担い手不足

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

4

構成

1. 地域のお困りごと
2. 公共交通の価値・役割
3. 人口減少でも利用促進
4. 共創で支える
5. 評価の指標:クロスセクター効果という考え方
6. 今そこにある危機、担い手不足

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

5

地域のお困りごと

人口減少
防災
担い手不足
教育問題
地域医療
文化の継承
福祉
地域コミュニティ
産業再生
買物難民
後継者不足
.....

図:公共交通のトリセツ

これらの地域課題で共通する事=足の確保

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

6

それもそうだが

・嘆いていても誰も助けはしてくれない

・モビリティ=自由な移動が阻害されると...

1. 人口減少の全国的趨勢⇔地域の人口減少が加速する
全国で59.2万人/年(2023年6月～2022年6月)総務省統計局
高松市の人口:41万人(2024年1月)
2. 地方(地域)衰退

全国津々浦々で地域経済・雇用・教育・文化・産業の基盤が揺らぎ
生活の安定・安寧が揺らぎ...地域が疲弊していく

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

7

足の確保=モビリティって何?

まち

モビリティ=自由な移動の意義と役割 本源需要と派生需要

通学 日常生活用品 趣味 買物 仕事 業務 友人 買物 しごと・生活関連施設...

モビリティ=距離の克服

モビリティは手段 目的は活動

ひと・すまい

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

8

モビリティを支える手段・技術群

本特定 (利用者) 特定 (輸送密度)

タクシー ライドシェア 乗合タクシー バス コミュニティバス アマゾン配送 郵便配達 宅配物(アマゾン) 宅配物(郵便) 宅配物(民間) 宅配物(自治体) 宅配物(企業) 宅配物(個人)

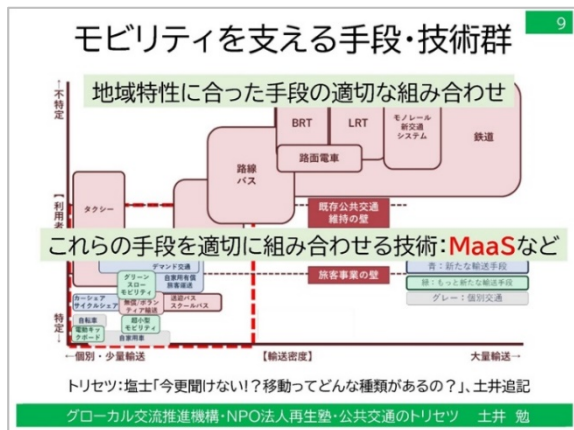
路線バス 路面電車 BRT LRT モノレール 新交通システム 鉄道

既存公共交通維持の壁 旅客事業の壁

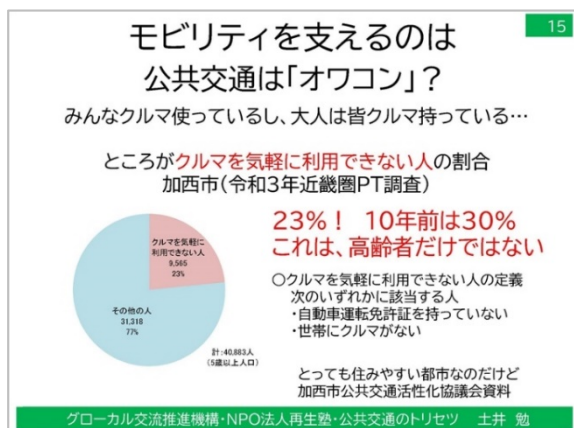
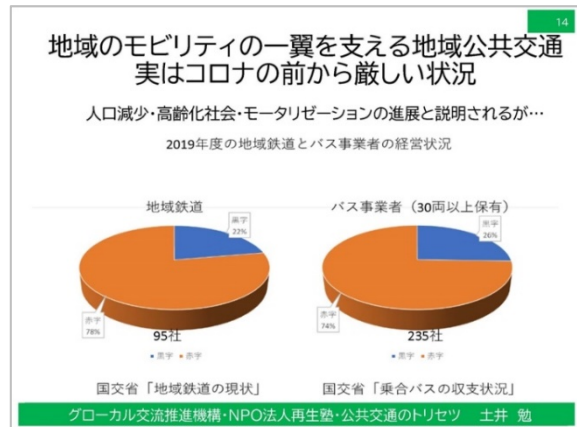
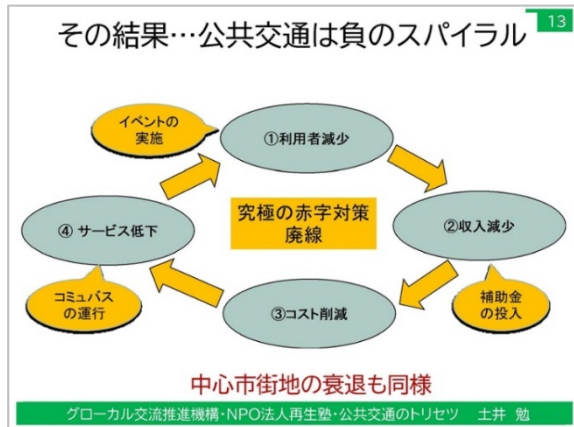
赤:既存公共交通 青:新たな輸送手段 緑:もっと新たな輸送手段 グレー:個別交通

トリエツ:塩土「今更聞けない?移動ってどんな種類があるの?」、土井追記

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉



- ### 構成
1. 地域のお困りごと
 2. 公共交通の価値・役割
 3. 人口減少でも利用促進
 4. 共創で支える
 5. 評価の指標：クロスセクター効果という考え方
 6. 今そこにある危機、担い手不足
- グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉



- ### しかし、公共交通には自動車とは異なる役割がある
- ① 潜在需要の顕在化⇔送迎(高齢者・特に高校生の通学)
送迎する方も大変
→人口定着・無医村防止(高校進学時)
→外出頻度の増加 →フレイル予防
→楽しみの活動・まちの賑わいへの寄与+雇用の拡大
 - ② 「束ねて」運ぶことができる⇔都市空間の効率性
→クロスセクター効果(行政コストの軽減=税の効率的利用)
→駅を中心としたまちの集積の可能性
 - ③ 非排除性(気軽に免許返納)
→障がい者雇用、クルマを持っていない人たちの雇用
- グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

17

-

生徒・学生の保護者対象の調査
滋賀県竜王町 H.30.2

問10-1 子供の送迎の負担

問10-1 子供の送迎の負担感

問10-1 子供の送迎の負担感

カテゴリ	N=26
とても負担に感じている	45.3%
やや負担に感じている	36.0%
あまり負担と感じていない	6.7%
まったく負担と感じていない	0.7%
不明・無回答	11.3%
N (%ベース)	150

公共交通の分担率が低いエリアほど送迎が多い

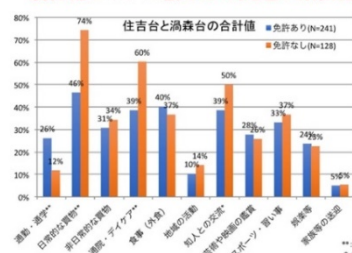
送迎人生の母の姿を見ると
…子どもたちは…

送迎される方も、する方も実は大変

西畑・土井「送迎交通とその担い手に着目した実態分析」,土木計画学研究講演集No.59,201906

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

潜在化していた**愉しみの交通**が**顕在化**



土井勉・西垣泰英他:「愉しみの活動」に対して生活に身近な「都市の装置」が果たす役割、大阪大学COデザインセンター、「Co*Design5」,pp.45-64,2019年3月

大阪大学CO+デザインセンター、「Co-Design5」,pp.45-64,2019年3月
グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾「公共文庫のドワセツ」 上井 颯

19



富山県高岡市エコライフ撮影会写真より

グローカルな
(撮影: (公財)とやま環境財団, 一部土井修正)

20



図：近畿運輸局

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 主井 勉

20



図：近畿運輸局

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

21

1. 地域の困りごと
2. 公共交通の価値・役割
3. 人口減少でも利用促進
4. 共創で支える
5. 評価の指標：クロスセクター効果という考え方
6. 今そこにある危機、担い手不足

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

21

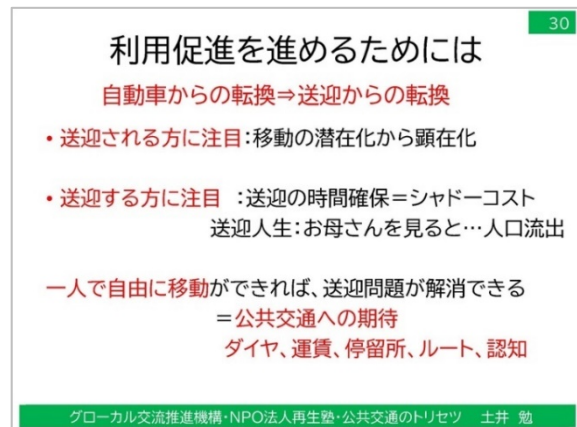
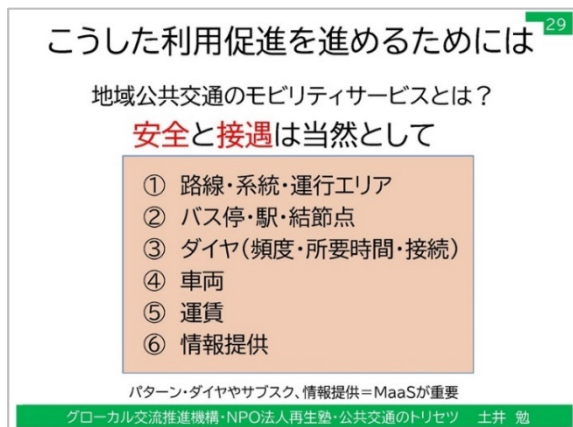
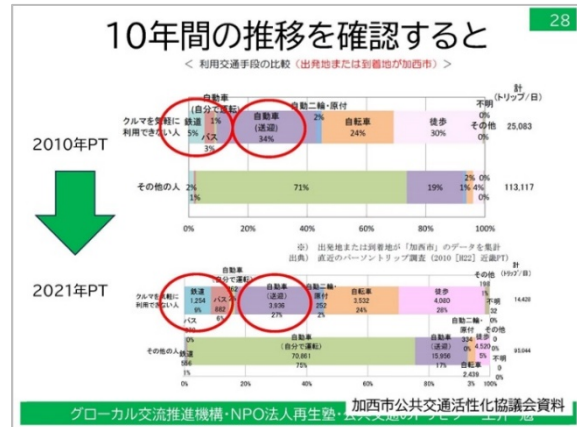
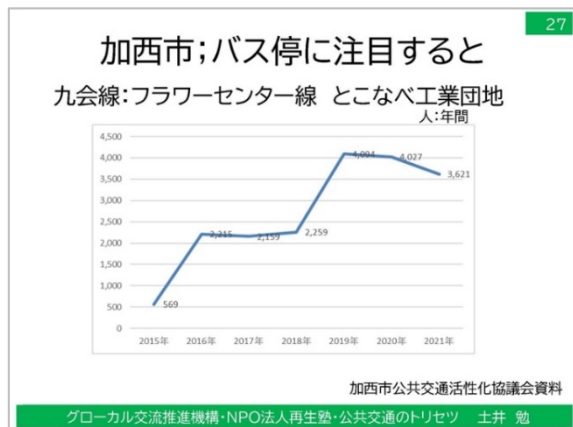
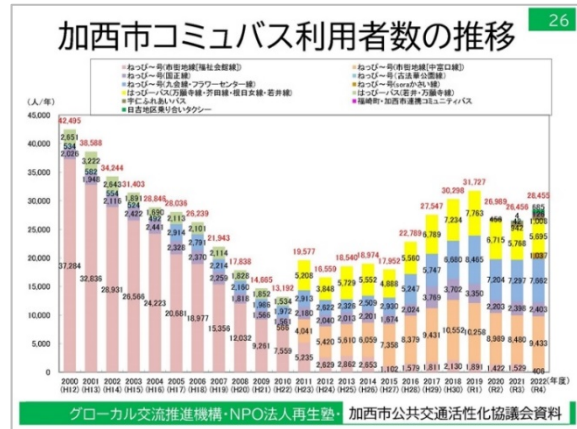
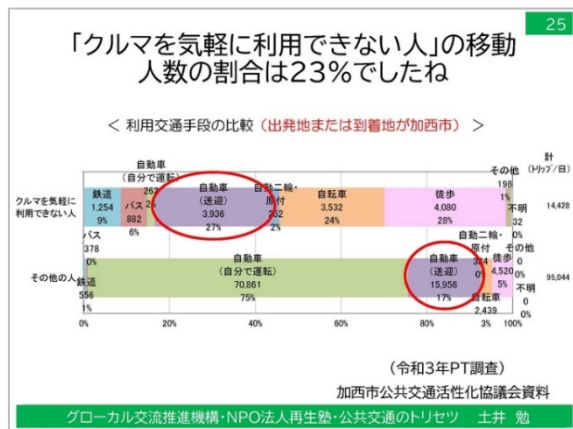
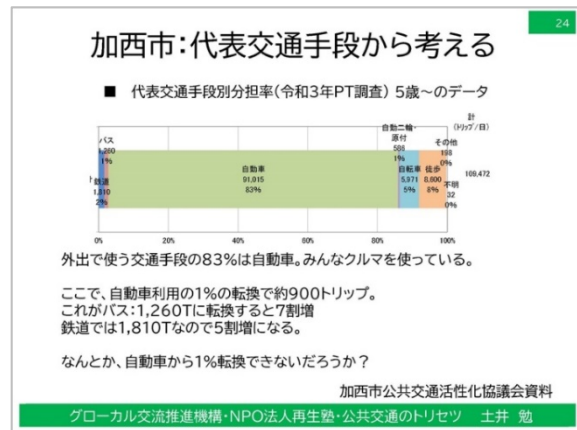
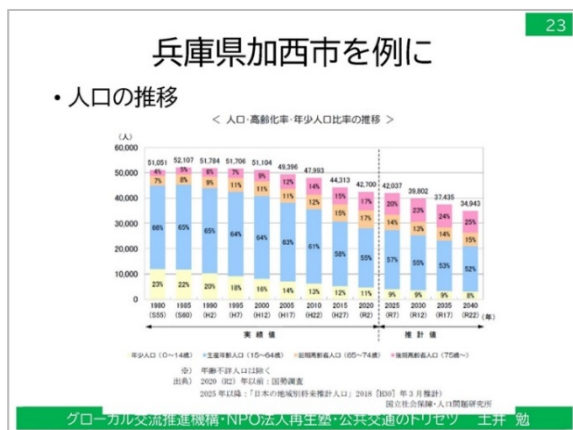
1. 地域の困りごと
2. 公共交通の価値・役割
3. 人口減少でも利用促進
4. 共創で支える
5. 評価の指標：クロスセクター効果という考え方
6. 今そこにある危機、担い手不足

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 主井 勉

22

- ①人口減少だから、公共交通の利用が減少するのは当たり前
- ②人口に依存しない観光交通をもっと増やすことが利用促進では重要
- ②はそう思うが、①はもう少し考えてみたい

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリヤツ 十井 勉



構成

31

1. 地域のお困りごと
2. 公共交通の価値・役割
3. 人口減少でも利用促進
4. 共創で支える
5. 評価の指標：クロスセクター効果という考え方
6. 今そこにある危機、担い手不足

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

共創 長岡京市×医療施設

32

済生会病院への通院交通手段(現在と転移以降=将来)N=115
自動車(送迎含む)が減少、バス・タクシー増加

2. 調査結果



第22回長岡京市地域公共交通会議資料 2021年3月 N=115

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

共創 長岡京市×医療施設

33

病院側でも、自動車での来院を減らすために、バス無料券の配布

はっぴいバスの想定利用者(済生会病院バス停)

	現在	将来	変化
行き	13%	47%	3.62
帰り	11%	45%	4.09

第22回長岡京市地域公共交通会議資料(N=115)、2021年3月

はっぴいバスの実利用者数(済生会病院バス停)

	2021年度	2022年度	変化
降車	2,610	8,401	3.22
乗車	1,581	7,722	4.88

データ：長岡京市提供

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

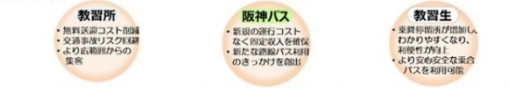
共創 阪神バス

34

阪神バスが、路線が重複する自動車教習所の無料送迎を乗合バス路線で代替



2022年度
JCOMM賞



企業等の送迎の安全性や利便性の確保、乗合バス事業の持続性向上を期待

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

構成

35

1. 地域のお困りごと
2. 公共交通の価値・役割
3. 人口減少でも利用促進
4. 共創で支える
5. 評価の指標：クロスセクター効果という考え方
6. 今そこにある危機、担い手不足

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

評価の指標

36

- ・数値指標(地域公共交通計画等の作成と運用の手引き、2022年)
- ・利用者数、収支率、公的資金投入額、満足度…
- ・それぞれ適材適所の指標として活用と注意

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

公共交通の価値・役割の定量化 クロスセクター効果(CSE)という考え方

37

- ・発端：コミバスに3,000万円/年の補助金の価値は？
- ・そこで、仮に補助金を止めるとコミバスも廃線、これまでの利用者の移動を支えるために、別途のスクールバスや病院の送迎車を準備する必要がある。
- ・それらの費用(分野別施策代替費用)の合計金額と補助金の差をCSEと定義



グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

CSEの算出事例

38

兵庫県西宮市コミュニティバスの算出事例



クロスセクター効果研修会資料(20231031)

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

構 成

39

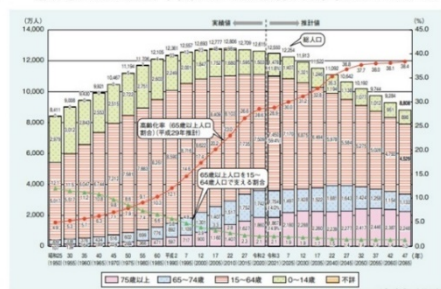
1. 地域のお困りごと
2. 公共交通の価値・役割
3. 人口減少でも利用促進
4. 共創で支える
5. 評価の指標: クロスセクター効果という考え方
6. 今そこにある危機、担い手不足

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

担い手不足の背景

40

- ① 一般的には生産年齢人口の減少と言われている



資料: 総務省

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

担い手不足への対処

41

- ① 主な原因は生産年齢人口の減少と言われている

- だったら、生産年齢人口以外からのリクルートを考える
- ・ 高齢者の生き甲斐づくりにも一役
⇒ 三重交通と桑名市の協定
- ・ 女性が働きやすい環境を整える
- ・ 海外からの労働力に期待する
- ・ 相談窓口の周知(事業者と行政の連携)

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

担い手不足への対処

42

- ② ネガティブキャンペーンは避けましょう

- ・ 給与低い、労働時間長い、不規則勤務…
- ・ 変な乗客からからまれる…
- ・ 将来性がない仕事
- ・ **自動運転の実装化**はまだ時間がかかる
様々な実験を積み重ねている
運転の自動化だけでなく、**アテンダント機能**が必要

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

担い手不足への対処

43

- ③ 憧れの仕事にしましょう

かつては、地域の人たちの憧れの仕事=手堅い
なせ、憧れたったのか

まずは3K職場のイメージを払拭すること
住宅ローンを借りることができる**安定した仕事**

- 「地域おこし協力隊」から学ぶ
- ・ 2023年度で6,400人を超える人達が参加
 - ・ 年収400万円程度、有期
 - ・ **仕事を通じて地域の人たちと顔が見える関係**

近江鉄道「みらいファクトリー」活動

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

担い手不足への対処

44

- ③ 憧れの仕事になりましょう



資料: 神姫バス 勉

地域のモビリティを確保することで

45

全国津々浦々で地域経済・雇用・教育・文化・産業
の基盤を確かなものとし

生活の安定・安寧を実現し、魅力ある地域を実現

〔自由意見欄〕

よくバス運行は利便性が便利に利用でき、私も家族や
新型コロナウイルスの影響で外出を控えているが、従来の生活に
おきかへ以前のように通勤ができれば、家族で食事や買い物に
出掛けやすくなり、生活が豊かになると思う。よくバスを長く利用できると、生活が豊かになる。

グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

ご清聴有り難うございました

46

NPO法人再生塾



公共交通のトリセツ



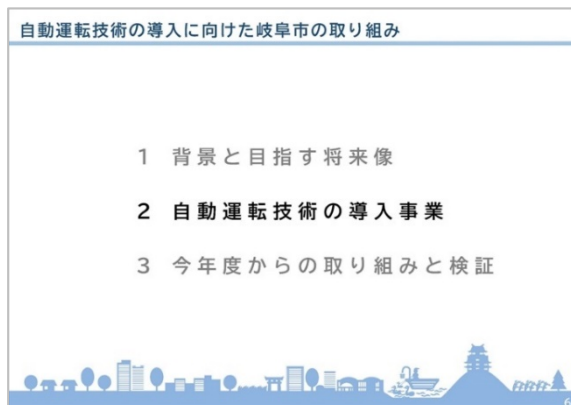
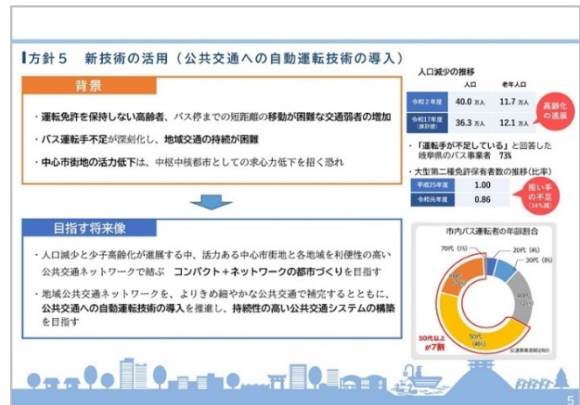
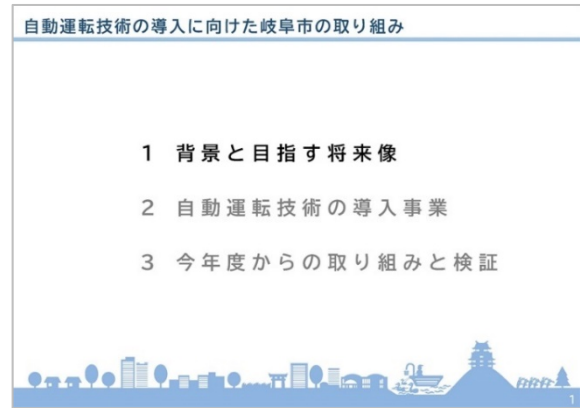
グローバル交流推進機構・NPO法人再生塾・公共交通のトリセツ 土井 勉

3. 事例紹介

○「自動運転技術導入に向けた岐阜市の取り組み」

岐阜市 都市建設部 交通政策課 交通施策推進係長 木股 雅仁氏

<配布資料>



2 自動運転技術の導入事業

経緯

年度	内容	段階
4. 22	岐阜市公共交通自動運転技術活用研究会 設立	段階的に取り組みを進め
5. 31	スマートシティモデル事業（国交省）「重点事業化促進プロジェクト」に選定	
7. 3	近未来技術等社会実装事業（内閣府）に選定	
11. 12	自動運転実証実験 体験乗車：196人	
～ 15	県内で初めての中心市街地の公道を自動運転バスが走行	推進
3	スマートシティ推進プロジェクト実行計画策定	
10. 23	自動運転実証実験 体験乗車：514人	
～ 31	県内で初めてのハンドルやアクセル、ブレーキペダルがない自動運転バスが走行	
12. 17	未来技術社会実装事業（内閣府）の支援継続決定	
10. 22	自動運転実証実験 体験乗車：1,537人	
～	歩行者と車両が分離されていない川原町を走る	
11. 20	岐阜公園ルートを追加し、約1ヶ月間の実証実験	
10. 25	共創の場形成支援プログラム(COH-NEXT)（文部科学省）採択	

名古屋大学が主体となり岐阜大学や企業などと連携

自動運転バスの運行状況

令和5年11月25日、中心市街地では**全国初**となる
自動運転バス **GIFU HEART BUS** の5年間の継続運行をスタート

運行概要

運行期間：令和5年11月25日から令和10年3月31日まで
運行ルート：中心部ルート 毎日運行 12便/日 約5km/周（約40分）
岐阜公園ルート 土日祝運行 3便/日 約9km/周（約70分）

車両：ナビヤアルマ3台 定員10人 ※オペレーター1人添く
その他：運賃無料 原則予約制 ※空席がある場合は予約なしで乗車可



車両等のデザイン

・公共交通のデザインで有名な水戸岡鋭治氏が手掛けた車両外観、内装、バス停、愛称による自動運転バスの認知度向上

水戸岡 鋭治（みづのおか えいじ）



生年：1947年 7月5日生（76歳） 岡山市出身
1972年 ドーンデザイン研究所設立
2011年 「菊池賞」受賞
2013年 なつな賞 19 歳組（JR九州）
2014年 清流ライオン（岐阜バス）
2019年 EXERIS（豊田県）



【コンセプト】
「自動運転バスは、高齢者や障害者、子ども、外国人など、誰もが安心して利用できる公共交通手段であるべき。そのため、バスのデザインは、誰もが安心できるようなデザインにすることが重要である。また、バスのデザインは、地域の文化や歴史を表現することも重要である。このように、自動運転バスのデザインは、多岐にわたる課題を抱えている。しかし、これらの課題を克服することで、自動運転バスは、誰もが安心して利用できる公共交通手段となる。このように、自動運転バスのデザインは、多岐にわたる課題を抱えている。しかし、これらの課題を克服することで、自動運転バスは、誰もが安心して利用できる公共交通手段となる。」

楽しくて、元気で、明るくて、やさしい。ワクワク・ドキドキさせるバスの色は、赤が最もふさわしい

SNSでの反響
可愛い！ / カッコいい！ / 皆さん写真撮ってる / 素晴らしいデザイン / これから乗る機会があると思うと楽しみ

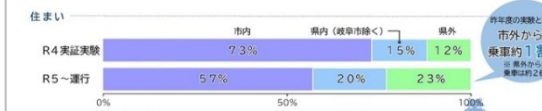
乗車人数（R6. 2. 12時点）

一般乗車		
中心部ルート（毎日運行 12便/日）	9,515人	〔運行便数：916便〕
岐阜公園ルート（土日祝運行 3便/日）	1,013人	〔運行便数：78便〕
合計	10,528人	〔運行便数：994便〕
		1便あたり約11人

関係者乗車（視察運行）

国、県、他都市、警察、大学、民間企業ほか	381人	〔運行便数：63便〕
総合計	10,909人	

乗車属性（乗車アンケートより集計）



自動運転技術の導入に向けた岐阜市の取り組み

- 1 背景と目指す将来像
- 2 自動運転技術の導入事業
- 3 今年度からの取り組みと検証

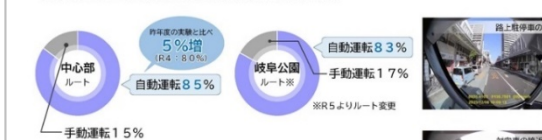
3 令和5年度の取り組みと検証

走行状況

自動運転割合

実施・検証結果

・運行管理システム（Dispatcher）から自動運転の走行割合を集計



主な手動介入要因

- ① 路上駐停車の回避
- ② 対向車の接近回避
- ③ 車線変更
- ④ 信号交差点の通過

走行環境の整備 信号協調システム

技術の検証

整備概要

- 自動運転車両に信号情報を提供する装置を信号機に設置
- ① 信号情報をサーバーへ送信
- ② 信号情報を自動運転バスに送信
- ③ 情報を基に自動で交差点を通過
- 走行ルート上の信号交差点全36箇所の内、15箇所の整備及び検証を行った

検証結果

- 15箇所の信号協調システム整備により、自動運転割合が昨年度より5%上昇

レベル4自動運転実現に向けた技術の有効性を確認

今後の方針

- 走行ルート上の全信号交差点で信号協調システムを整備

路車協調システム

技術の検証

整備概要

- 路上に設置したAIカメラ等で交通状況を検知し、自動運転車両へ情報提供するシステムを整備（「岐阜市役所」交差点）
- ① 交通情報をサーバーへ送信
- ② 右折や直進情報を自動運転バスへ送信
- ③ 情報を基に自動で右折

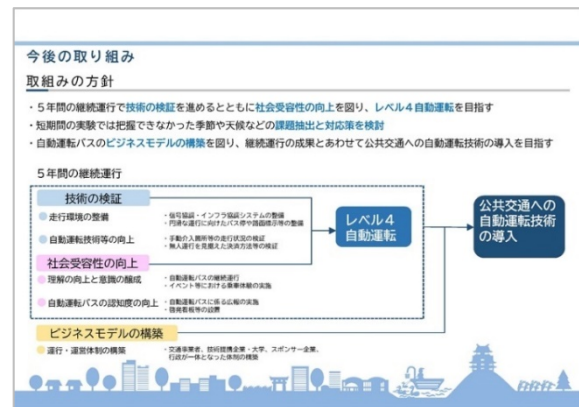
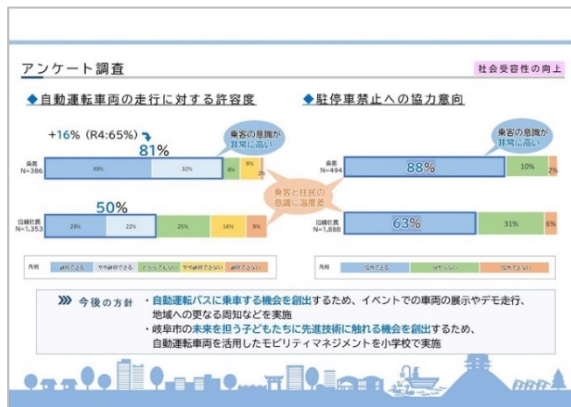
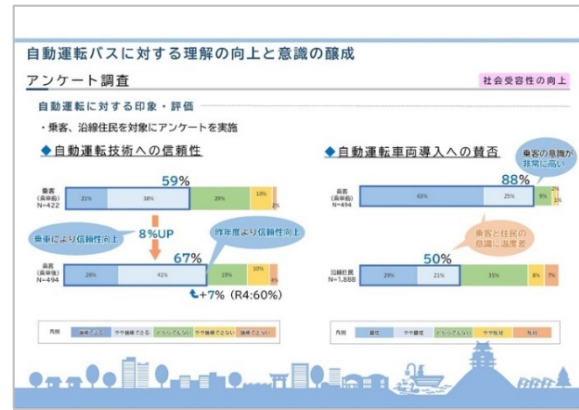
検証結果

- 路車協調システムの整備により、完全自動右折を実現

レベル4自動運転実現に向けた技術の有効性を確認

今後の方針

- まずは路車協調システムが必要な2箇所の交差点を整備（長良橋通り合流部、小瀬2交差点）



○「移動×人材交流による交流型モビリティ実験 合同会社うさぎ企画 代表 森田 創氏

<配布資料>





森田 創 (もりた そう)

1974年5月21日、神奈川県川崎市出身 (49歳・トウ年)

1999年4月、大手鉄道会社入社。

- ・海外事業／オーストラリア都市開発 (3年)
- ・社内ベンチャー制度によるフィルムコミッション立ち上げ (3年)
- ・都心駅直通のミュージカル劇場の開業責任者 (7年)
- ・広報課長 (4年)
- ・伊豆半島での日本初「観光型MaaS」立ち上げ (3年)

2014年10月～ 作家としても活動 (兼業作家歴7年)

2021年10月、合同会社うさぎ企画、設立。







複業人材×中小企業@地方都市一課題解決と関係人口増で活性化

2022年度実施 焼津市内中小企業×複業人材マッチング合宿

焼津市内企業の主な経営課題	複業人材の主なスキル
✓ 売上拡大の困難化 ✓ 新規事業開発立案 (コロナ禍による事業環境の激変) ✓ 管理職のための社員教育 (経営者から社員への伝達) ✓ 人財育成の体制整備 (経営者から社員への伝達) ✓ デジタル化対応 (ワークフローの効率化・自動化) ✓ 社長の壁打ち相手 (経営者自らの危機感)	★ マーケティング ★ 広報宣伝 ★ 新規事業立案・推進 ★ 人事労務 ★ 販路拡大 ★ DX ★ プロジェクトマネジメント




2021年度～ 焼津市内中小企業×複業人材マッチング合宿

焼津市内企業の主な経営課題

- ◆ EC含めた販路拡大
- ◆ 新規展開戦略立案 (コロナ禍による事業環境の激変)
- ◆ 管理職含めた社員教育 (経営者から社員への伝達)
- ◆ 人事労務面の体制整備 (経営者から社員への伝達)
- ◆ デジタル化対応 (ワークフローの効率化・自動化)
- ◆ 社長の壁打ち相手 (経営者自らの危機感)



109名
首都圏等複業人材向け
オンラインセミナー
2021.12.20

95名
焼津企業経営者向け
キックオフセミナー
2022.1.21 (合同庁舎利用)

90名
静岡県複業人材向け
複業セミナー
2022.3.18 (HODEN)

25名
第1回
複業人材マッチング合宿
2022.3.21～26 (合同庁舎利用)

複業人材の主なスキル

- ◆ マーケティング
- ◆ 広報宣伝
- ◆ 新規事業立案・推進
- ◆ 人事労務
- ◆ 販路拡大
- ◆ DX
- ◆ プロジェクトマネジメント



関係人口×地元プレイヤーの交流「部室」→さらなる活性化の基盤

伊豆高原「エクレアホール」(Co-working / Satellite Officeの企画・運営)




2022年：焼津Portersの事業計画・PR・リーシングを含むプロマネ事業







2023Spring Open!

新しいイノベーション拠点へ (コワーキング・ワーケーション施設、オフィス、飲食施設・店舗、ホテルなど)

担当業務

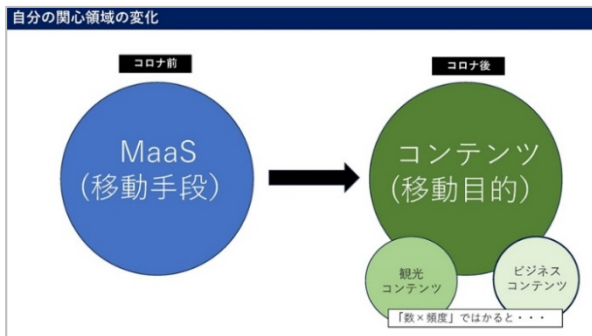
- プロマネ
- PR・イベント企画
- テナントリーシング



関係人口×モビリティサービス＝地元交流と活性化の最大化







【「足づくり」事例】静岡県東伊豆町・交流型モビリティ「INAZUMA SHUTTLE」

○伊豆稲取駅3キロ圏の36箇所の停留所をオンデマンドで走行するワゴン車（10人乗り）
○実会話カフェやスマホ教室など40本の交流イベントと連携、交流と移動の相乗効果をねらう

オンデマンド交通実験

11月1日～12月27日

電話で予約受付
0975-82-0000

【「足づくり」事例】静岡県焼津市・交流型モビリティ「つなモビ」

○焼津駅3キロ圏の30箇所の停留所をオンデマンドで走行するグリーンスローモビリティ（2台）
○ビジネスセミナーやマルシェなど40本の交流イベントと連携、交流と移動の相乗効果をねらう

つなモビ

あなたを繋げる
あたたかい乗り物

1日乗り放題 600円

10月1日～12月27日

静岡県東伊豆町・交流型モビリティ「INAZUMA SHUTTLE」 実験経緯

2022年9月から町民回覧式・対面式アンケートを4回にかけて実施、公共交通を中心とする生活課題をヒアリング。2022年11月には「地域公共交通講演会」を実施、町民生活を支える公共交通の重要性を伝える啓蒙機会を作った。

町民アンケート

【期間】2022年9月～2023年4月

【対象】大川、北川地区
マックスバリュートーヨー稲取
稲取地区
エンゼルリゾート稲取

【回答数】816名

※詳細は別添

2022年11月 マックスバリュートーヨー稲取での対面式調査

2022年11月 地域公共交通講演会

静岡県東伊豆町・交流型モビリティ「INAZUMA SHUTTLE」 町民アンケート（2022～23年度）

調査場所	大川・北川地区	マックスバリュートーヨー稲取	稲取地区	エンゼルリゾート伊豆稲取
調査期間	2022年9月15日～10月7日	2022年11月18日	2022年12月23日～2023年1月30日	2023年4月3日～4月30日
調査方法	郵送式	対面式	郵送式	郵送式
男	174	30	135	43
女	222	50	142	38
その他	1	0	1	0
合計	397	79	278	81
内訳				
～20代	4%	6%	4%	0%
30～40代	9%	13%	13%	4%
50～60代	29%	31%	29%	39%
70代	36%	40%	33%	38%
80代～	22%	10%	24%	19%
よく使う外出先（複数回答可）	①商業施設（73%） ②公共施設（62%） ③学校・習字等の場（30%）	①商業施設（89%） ②公共施設（74%） ③学校・習字等の場（5%）	①商業施設（74%） ②公共施設（64%） ③学校・習字等の場（26%）	①公共施設（85%） ②商業施設（69%） ③マックスバリュートーヨー（49%）
よく使う移動手段（複数回答可）	①マックスバリュートーヨー（56%） ②バスやタクシー（42%） ③マックスバリュートーヨー（29%）	①マックスバリュートーヨー（85%） ②バスやタクシー（54%） ③マックスバリュートーヨー（25%）	①マックスバリュートーヨー（85%） ②バスやタクシー（54%） ③マックスバリュートーヨー（25%）	①マックスバリュートーヨー（89%） ②バスやタクシー（54%） ③マックスバリュートーヨー（30%）

静岡県東伊豆町・交流型モビリティ「INAZUMA SHUTTLE」 実験方向性

◆アンケート結果の総括
・高齢者の日常移動は既存公共交通では不足せず、地味路線によりかろうじて保たれている状況
・コロナ禍による地域コミュニティは衰退しつつあり、今後の移動環境については不安を抱えている
・シニア移住者の多くはマイカーを持たず、交流意欲はあるが移動制約により交流が進まない状況

◆実験方向性
・地域コミュニティの衰退後も高齢者の移動環境と健康寿命を守るための新しい交通実験
・コロナ禍により失われた外出意欲と交流機会を復活させ、町内を自律的に活性化させる機会
・町内の課題解決に資するスキルを持ちながら交流機会がなかったシニア移住者等を町の担い手に

◆実験ターゲット
・将来の移動環境と孤立化の不安を抱える地元高齢者（現状の移動課題は大きくはないと想定）
・移動課題と交流課題を抱え、町内課題を解決する能力を持つ首都圏シニア移住者（移動課題は大）
・町内課題を解決する能力を持ち、過疎型社会の活性化に関心ある首都圏ビジネス客（鉄道利用）

移動×交流機会増による町内活性化

静岡県東伊豆町・交流型モビリティ「INAZUMA SHUTTLE」 実験概要

伊豆稲取駅3キロ圏内をオンデマンド交通を走らせ、36カ所の交流拠点や生活拠点を停留所として設定。主要停留所で交流イベントも同時開催し、移動×交流による地域活性化とプレイヤー発掘を行う。

○主 体：東伊豆町・合同会社うさぎ企画
○時 期：2023年11月1日（水）～12月27日（水）。毎日10時～17時まで運行
○車 両：10人乗りワゴン車1台（運行は〈株〉東海バスに委託）
○運 行：稲取地区3キロ圏内の停留所36カ所をオンデマンド形式で運行（料金：1日乗り放題600円）
○予 約：東伊豆町LINE経由のアプリ予約またはコールセンター（企画調整課内）による電話予約
○決 済：東伊豆町LINE経由の専用アプリからの事前決済またはワゴン車内での現金決済
○その他：主要停留所で交流イベントを開催し、移動×交流によるコミュニティ活性化を図る

◆停留所の方向性
①地元高齢者やシニア移住者にニーズある施設（商店、郵便局、薬局、カフェ）…アンケートによる
②若い移住者やビジネス客にニーズがある施設（交流拠点、カフェ、飲食店等）…個別調査による
③観光客にニーズがある施設（観光施設、コンビニ、神社、農園等）…旅館組合等への調査による
④高低差が激しいなど特定の集落でニーズがある場所

※上記を踏まえた36カ所の停留所については次頁参照



静岡県東伊豆町・交流型モビリティ「INAZUMA SHUTTLE」 名称とロゴ

◆イメージターゲット
・人生経験を重ねつつも自らをアップデートしたい60歳以上の首都圏移住者
・町民との化学反応を楽しみながら、町内の課題解決を図る首都圏ビジネス客

◆実験名称とロゴ

【方向性】
・未知なものとの交流による化学反応をイメージさせるもの
・年齢にかかわらずフレッシュでありたいという若さを想起させるもの
・60歳以上の世代感（ラジオの洋楽大賞を体験）にもフィットするもの
・覚えやすく、ワクワクして思わず集まりたい名前

【名称】
Inazuma Shuttle（「電シャトル」）
→稲取の「稲」と、電（インフラ）のような化学反応を期待したい

レンボディ・ディコラ社のデザイナーによる車両デザイン案

静岡県東伊豆町・交流型モビリティ「INAZUMA SHUTTLE」 実験目標値

合計300（11月1日～12月27日の57日間の乗客目標）

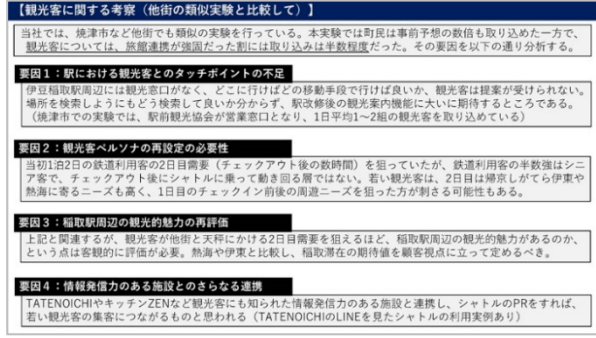
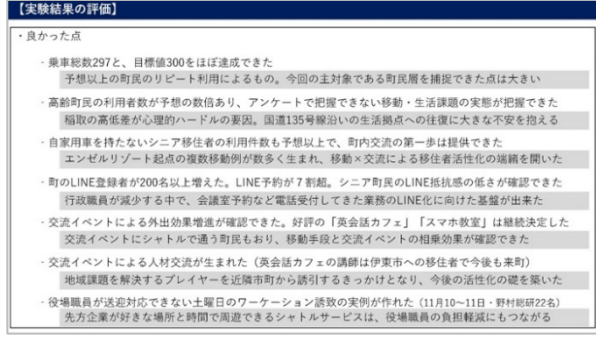
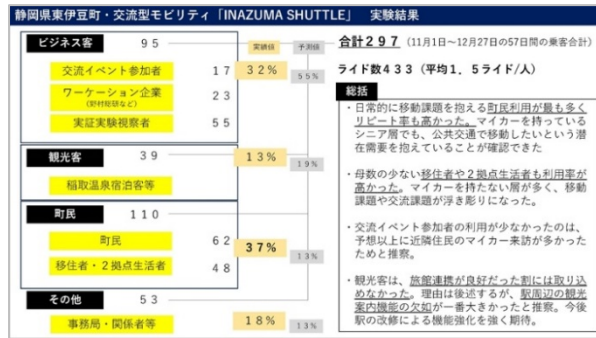
ビジネス客	164	55%
交流イベント参加者	68	
ワーケーション企業（取材取材など）	30	
実証実験視察者	66	
観光客	56	19%
稲取温泉宿泊客		
町民	40	13%
町民	10	
移住者（エンゼルリゾート在住者）	30	
実験事務局等	40	13%

◆町民・移住者との化学反応を促してほしい距離別層
◆一定量のボリュームが必要という認識と過半を見込む

◆旅館・観光施設・土産物施設を巻き込むための存在
◆鉄道利用者のうち高遠意識のある40～50代以下の層（稲取観光客の10%程度）

◆ビジネス客との化学反応を起こしてほしい地元層
◆地元交流機会の少ない移住者にはリピーター化を期待
◆町民はまだ移動課題を感じておらず量は期待できない

◆移動×交流により町の課題解決の担い手となるシニア移住者等のプレイヤーを発掘する
◆移動×交流により外出機会を増やした町民の事例を複数作り出す
◆ビジネス客と町民の交流により、町の課題解決の糸口をつかめる事例を作り出す

[illegible]

【利用者の声（当社のヒアリングによる）】	
○市の活性化にもつながるサービスだと思います。随分と、街の中で随分シャトルを見かけました。エンゼルリゾートの住人の一人からは、よく利用してるのよって聞いていました。行動がしやすくなったと言っていました。私は、東京から2人の友人が泊まりに来てくれた時に、ありがたく3人で利用させてもらいました。	60代女性移住者
○エンゼルリゾートの送迎サービスのない金曜に東京から来て、月曜に帰京するので、駅までの往復で毎週助かっていました。朝寝のない飲食店等が停留所となっており、足を運ぶきっかけになりました。是非継続してください。	40代既婚女性
○エンゼルリゾートを買って5年。完全移住に踏み切れない要因が移動手段だったので、移住を考えるきっかけになりました。また地元の方と交流が出来る仕掛けも、移住後の生活をイメージする上で有難かったです。	60代70代女性
○タクシーが捕まらないので月通6000円でも十分価値がある。遅れるときは事前に知らせてくれると嬉しい。	60代既婚女性
○高齢の母親が薬局や病院に行く際、送迎しなくてよいので便利。而も、新しい時は手が離せないこともある。県外のお客さんが自店舗だけでなく色々回って船取を好きになってもらえるのは、リピートにつながる。	50代既婚女性
○高齢の両親に早く免許返納してほしいと思っていた。イナズマシャトルがあれば良いきっかけになる。	50代既婚女性
○密泊車をしているが、密泊客が町を周遊して交流するのにも向いているサービスで、相性が抜群。高低差もあり、歩いて回るには厳しいので、町の魅力を伝えて船取ファンを作る上でもすばらしい。	30代既婚者兼住
○生活コストの面で自家用車がなくて良いなら助かるし、駅や商業施設など生活拠点を回ってくれるなら移住者にも便利。交流機会が増えるのも有難い。若くて経済力がない移住者層を誘致する上でも重要なツールになるのでは？	20代既婚者兼住
○金曜夕方から役場前で出店を出しているが、その時間まで走ってくると密泊客が呼び込めるので有難い。	40代既婚女性
○ダイビングスクールに通っているが、荷物が重たく、町で寄り道できず残念だった。すごく有難かった。	20代既婚女性
○船リ子を降りたら駅で乗れる点、船りの電車に合わせて乗車予約できる点は、滞在時間の価値をあげる。	40代既婚者兼住

【さいごに】
• ところ変わればアプローチは異なる • MaaSは課題解決の手段であり答えでもなんでもない • MaaSとあわせて公共交通のサービスレベル向上も必須 • サービス継続を支えるのは日常利用（そのために何をする？） • 決めるのはお客様。客観的な眼で自社サービスを観察せよ

○「共助で作る、あたらしいまちの交通」
暮らしの交通株式会社 代表取締役 田島 颯氏
＜配布資料＞

○「共助で作る、あたらしいまちの交通」
暮らしの交通株式会社 代表取締役 田島 颯氏
＜配布資料＞

○「共助で作る、あたらしいまちの交通」
暮らしの交通株式会社 代表取締役 田島 颯氏
＜配布資料＞

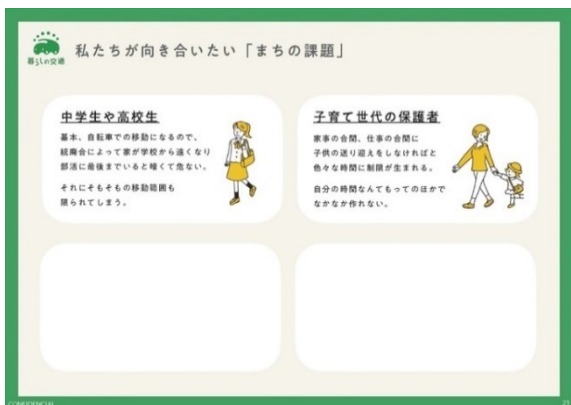
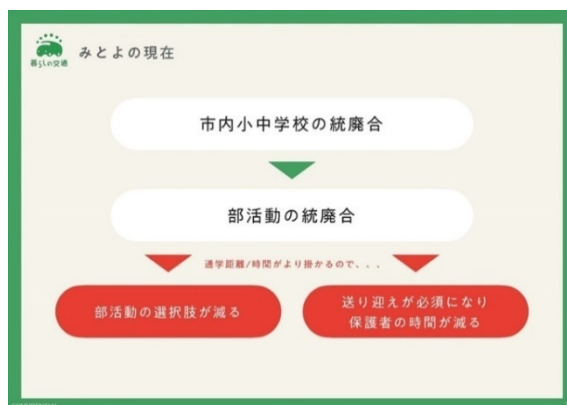
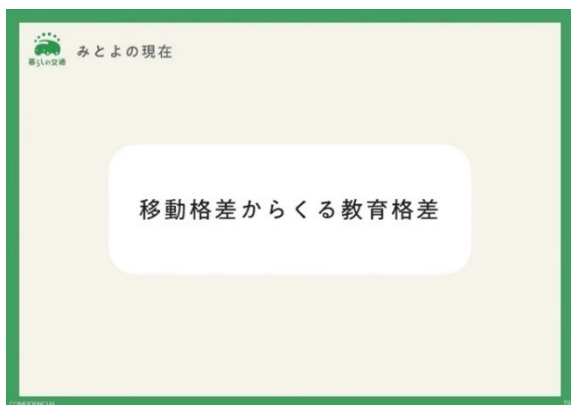
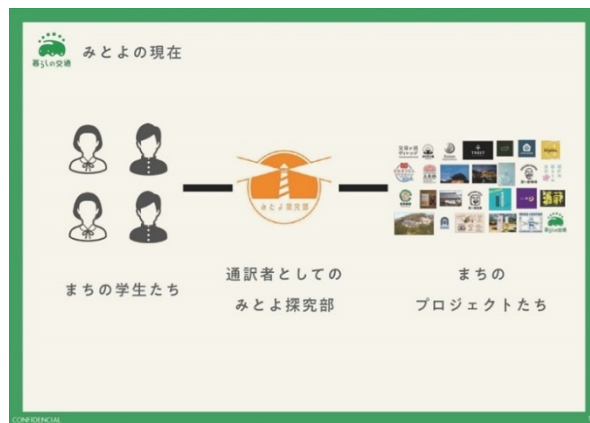


移住しやすいまち みとよ

R3年 移住者数：305人

空き家成約率日本一
※人口10万人以下





暮らしの交通の事業

オンデマンド交通サービスの提供

移動・交通ニーズの分析

まちの課題は、まちのみんなで向き合う



暮らしの交通のオンデマンド交通サービス

mobi
Community Mobility

呼べばくる。出発地から目的地の設定自由自在。
定額乗り放題の新たな移動の選択肢。
オンデマンド乗合交通サービス「みとよmobi」。



みとよmobiはアプリで簡単に呼べる



暮らしの交通 みとよmobiの特徴



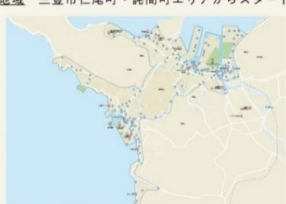
- 01 呼べば来る**
「お迎え地点」と「行き先」を指定すれば迎えに来てくれます。待ち時間20分前後です。
コミュニティバスより使い勝手が良く、タクシーよりも気軽に使える。新たな乗合バスの登場です。
- 02 アプリや電話で完結**
アプリ内での簡単な操作で、乗降車の手続きが完了。
また現在、電話での予約受付も準備中なので、子供からお年寄りの方々まで簡単に利用可能。
- 03 みんなで育てる交通**
バス停・地域もどんどん拡大。乗降ポイントは月2回追加可能です。
使う人たちがより使いやすいサービスを目指して自分たちで作っていく、みんなで育てる交通です。

暮らしの交通 みとよmobiの現在

運行時間/運行地域

運行時間 7:00~22:00

運行地域 三豊市仁尾町・鈍間町エリアからスタート（拡大予定）



暮らしの交通 みとよmobiの現在

月額プラン

通常会員	学割会員 高校生・大学生までが対象
30日 6,000円 家族一人追加あたり+1,000円（最大6名まで可）	30日 3,000円

ワントタイム

1回 500円/1人
一回乗車あたり1,500円で定額回数無くなり乗車いただけます。

暮らしの交通 みとよmobiの今後の展開

交通事業者から交通商社へ

移動に伴うハードルを取り払う





○「おでかけ困難解消によるフレイル予防」

ネットヨタ瀬戸内株式会社 モビリティ事業部 部長 大石 一浩氏

<配布資料>

2024年2月16日(金)
スマートモビリティチャレンジ シンポジウム in 四国

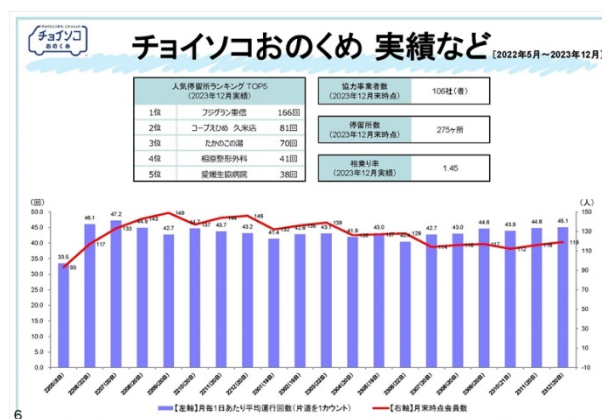
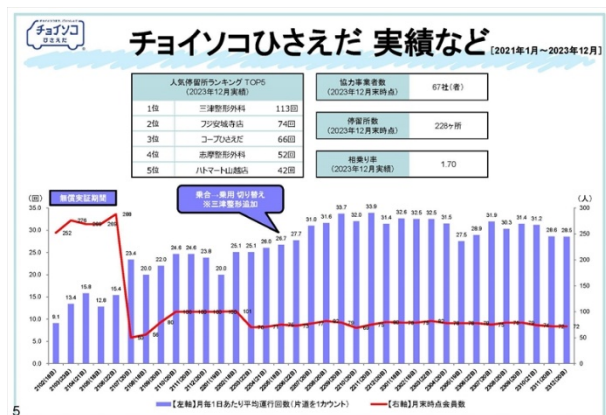
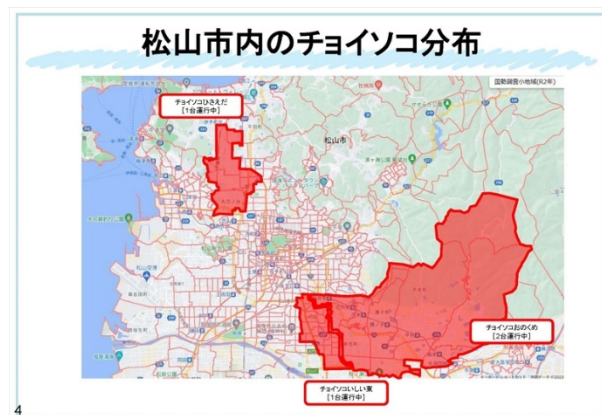
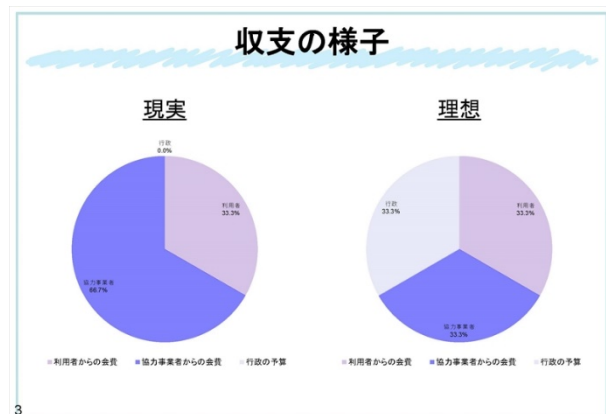
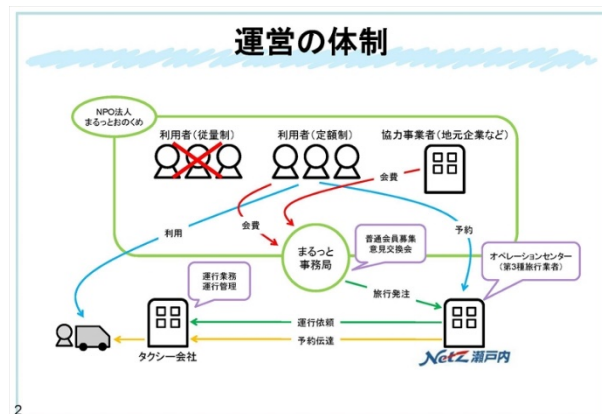
おでかけ困難解消によるフレイル予防

～愛媛県松山市での取り組みを参考に～

ネットヨタ瀬戸内株式会社 大石一浩
n-seto24@netz-setouchi.co.jp

はじめに

愛媛県松山市では、地域が主体となった、問題解決型モビリティサービスが広がりをを見せています。



主な特徴

- ◆ 自宅前で乗降可能なドアツードア型である
- ◆ 月額3,500円の乗り放題制(のみ)である
- ◆ 行政の予算は全く付かない独立採算制である

「成り立ち」と「効果」
にもご注目いただきたい！

ここからは…

「チョイソコおのくめ」を中心に紹介します。



活動を始めたきっかけ(成り立ち)

久米地区にお住まいのKさん(75歳/女性)のコメント

出かけた時に出かけられない状況が続くと、出かけたこと自体を忘れてしまう。出かけることが億劫になる。

出かけず家にこもっていると、体だけじゃなく心まで元気がなくなる。地域が不健康な高齢者で溢れかえってしまう。

気持ち良くお出かけを続けられると、健康維持やフレイル予防に繋がるに違いない。私たちの地域は、元気に歳をとれる地域であらいたい。



はじまりの人たち

プロジェクトの意図(Purpose)

最大のテーマを「地域ぐるみのフレイル予防」に設定。さらに「フレイル」を3種類に分解して整理。

(1) 心のフレイル

事前に調査をしました。

(2) 体のフレイル

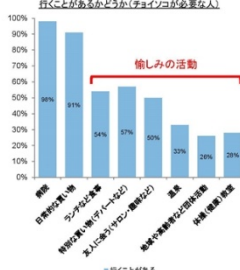
事前に調査をしました。

(3) 社会的なフレイル

(恥ずかしながら)後から気付きました…

おでかけ状況(チョイソコが必要な人)

行くことがあるかどうか(チョイソコが必要な人)

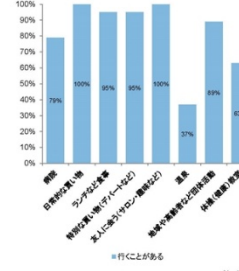


おでかけ頻度の充足度(チョイソコが必要な人)

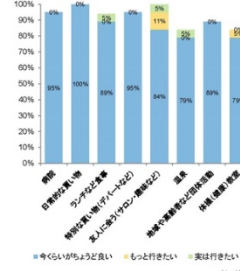


おでかけ状況(チョイソコが必要ない人)

行くことがあるかどうか(チョイソコが必要ない人)



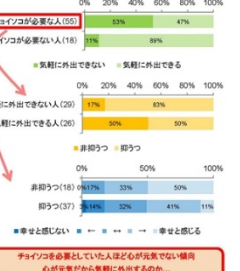
おでかけ頻度の充足度(チョイソコが必要ない人)



(1) 心のフレイル関連(効果)

チョイソコが必要な人(100)

チョイソコが必要ない人(118)

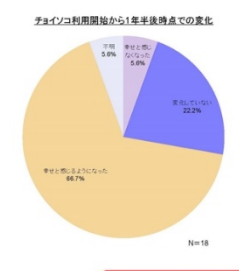


チョイソコ利用開始直後の変化

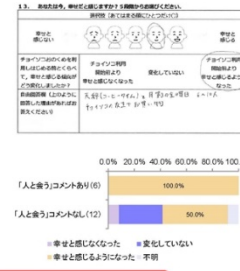


(1) 心のフレイル関連(効果)

チョイソコ利用開始から1年半後時点の変化

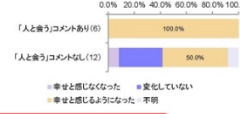


3.3. 高齢者生活、福祉に必要とする機能や役割の維持・向上



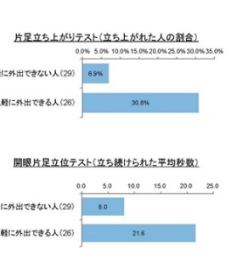
「人と会う」コメント数(10)

「人と会う」コメントなし(12)

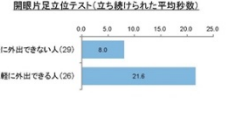


(2) 体のフレイル関連(効果)

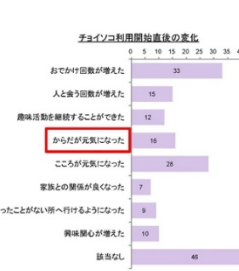
片足立ちよりテスト(立ち上がった人の割合)



開腿片足立テスト(立ち続けられた平均秒数)



チョイソコ利用開始直後の変化



(3) 社会的なフレイル関連(効果)

意気投合しすぎて「日帰りしなみ旅行」を実現してしまう



車内で出会う



意気投合して月に1回の
コーヒー飲み友達になる



16

意図があるから仕組が決まる

最大のテーマである「地域ぐるみのフレイル予防」のために…
まずは、とにかく誰でもゴキゲンにおでかけできるようにしよう。

自宅前で乗降可能な
ドアツードア型

100m歩くのが辛くても
おでかけしたい人はいるのだから。

月額3,500円の
乗り放題制(のみ)

「使わないともったいない精神」を煽って
目いっぱい出かけてもらおう。

効果を測定

おでかけによって心や体が元気になっているようだ。
意図に沿った効果が見えてきて良かった良かった。
もっと効果を高められるようカイゼンを続けよう。

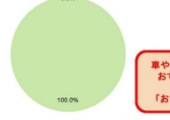
17

「チョイソコいして」事前調査(1)

現在おでかけ手段に困っているかどうか(全世帯)



現在おでかけ手段に困っているかどうか(車やバイクがある人のうち)



車やバイクを持っていないと
おでかけ手段に困りがち
「おでかけ自己責任地域」

自由に使える車やバイクをお持ちかどうか



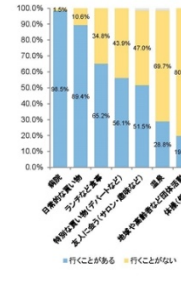
現在おでかけ手段に困っているかどうか(車やバイクがない人のうち)



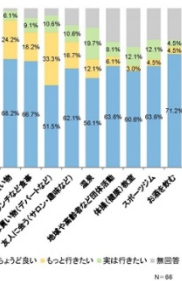
18

「チョイソコいして」事前調査(2)

行くところがあるかどうか(全世帯)



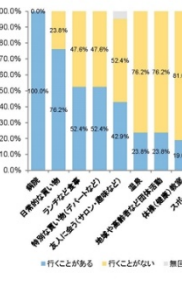
おでかけ頻度の希望(全世帯)



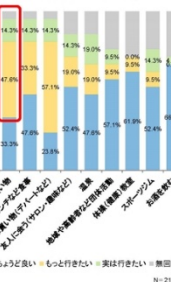
19

「チョイソコいして」事前調査(3)

行くところがあるかどうか(困っていない人のうち)



おでかけ頻度の希望(困っていない人のうち)

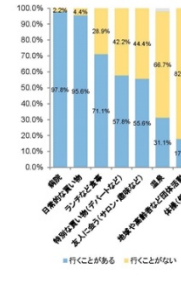


日常的な買い物
でも遠征に
行けない
可能性

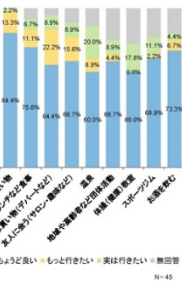
20

「チョイソコいして」事前調査(4)

行くところがあるかどうか(困っている人のうち)



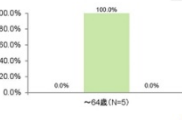
おでかけ頻度の希望(困っている人のうち)



21

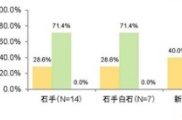
「チョイソコいして」事前調査(5)

現在おでかけ手段に困っているかどうか(年齢別)



年齢が高くなると
困る人の割合が増える

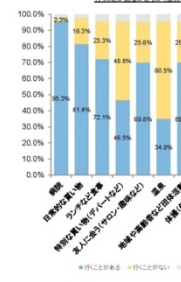
現在おでかけ手段に困っているかどうか(地域別)



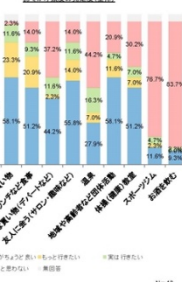
22

この事前調査もだんだん進化しています

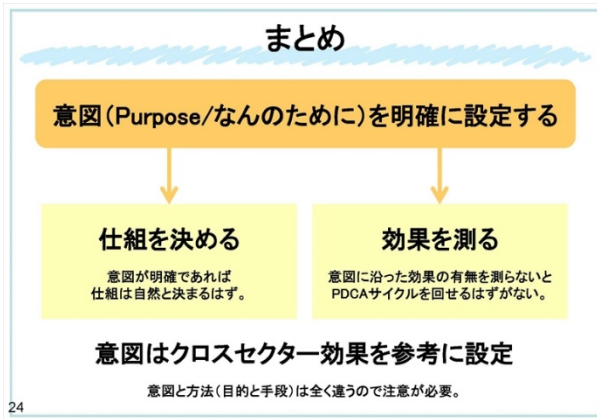
行くところがあるかどうか(全世帯)



おでかけ頻度の希望(全世帯)



23



ご清聴ありがとうございました。

ネットヨタ瀬戸内株式会社 大石一浩
n-seto24@netz-setouchi.co.jp

25

4. スマートモビリティ「CRASSO 号」運行実証調査報告（ダン計画研究所）

<配布資料>



1 地域一体型オープンファクトリー-CRASSO/2023



地域一体型オープンファクトリー-CRASSO2023

地域の企業が一体となって、ものづくりの現場を公開するオープンファクトリーイベント。

開催日時: 2023年11月23日(木・祝)~25日(土) 3日間





地域一体型オープンファクトリーCRASSO2023

地域の企業が一体となって、ものづくりの現場を公開するオープンファクトリーイベント。

開催日時: 2023年11月23日(木・祝)～25日(土) 3日間

工房・工場見学



ファクトリーショップ



体験ワークショップ



3市町のものづくり企業25社+飲食店などを
一般来訪者が周遊

3



地域一体型オープンファクトリーCRASSO2023

地域の企業が一体となって、ものづくりの現場を公開するオープンファクトリーイベント。

開催日時: 2023年11月23日(木・祝)～25日(土) 3日間

つくり手の想いに触れる旅∞
(展示会)



Local X Forum
(トークイベント)



フード
ドリンク販売



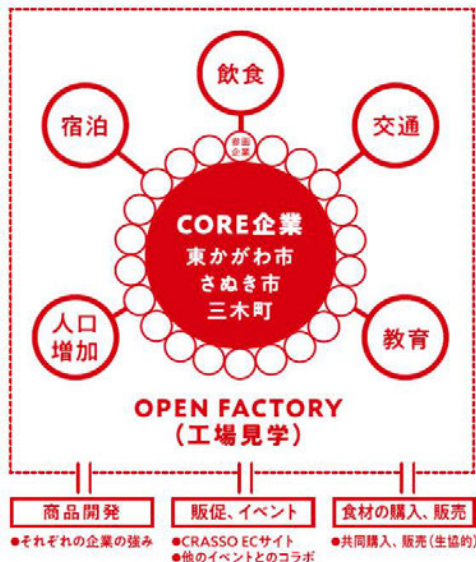
3市町のものづくり企業25社+飲食店などを
一般来訪者が周遊

4

1 地域一体型オープンファクトリーCRASSO/2023

C R A S S O

バーバス：オープンファクトリーにとどまらない地域全体の活性化を目指す
ビジョン：ものづくりの聖地



飲食

- CRASSO来訪者に対してのランチ、ディナーの提供・情報発信
- イベント期間中の特別メニュー提供(地元の食材を使用、Insta対応メニュー)

宿泊

- CRASSO来訪者に対して宿泊施設の提供・情報発信

交通

(デメリットをメリットに変える発想)

- CRASSO来訪者の自家用車の駐車場提供
- 遠方からの来訪者に対してJRサービス、無料(巡回)バス、タクシー提供

教育

- 小学校、中学校、高校生の職場体験
- インターンも視野に入れた取り組み
- インバウンドを取り込む仕掛け-英語他外国語対応教育

人口増加

- 人手不足の解消(外国人雇用、実習生雇用)
- デュアルライフ推進、デュアラウの取り組み

5

1 スマートモビリティ「CRASSO号」の運行

四国経済産業局が運行主体となり、ネットトヨタ瀬戸内株式会社のご協力をえて、自治体・地域交通事業者、CRASSO実行委員会とが連携し、実証運行を実施。

ご利用
無料

スマートモビリティ/
CRASSO号
を運行します

四国最大級のオープンファクトリーイベント、CRASSO/2023vol.2が、11月23日(木)～25日(土)の3日間、香川県東かがわ市において開催されます。

四国経済産業局では、来場者の皆様に気持ちよく移動いただくこと、地域住民の皆様の日常生活を妨げること、これらの課題を解決するため、自治体・地域交通事業者、CRASSO実行委員会との連携のもと、「CRASSO号」の運行を行います。

イベント期間中に営業の発生などで地域の日常生活に支障をきたす恐れがないよう、メイン会場や各拠点等への移動には、「CRASSO号」を積極的にご利用ください。

運行情報 予約・問合せ 050-*****

① 無料の運行業務での乗り合いによる完全予約制の運行サービスです。
② 無料の運行業務とは別に、お申し込みいただいた乗客専用バスも運行いたします。

運行日時 11月23日(木)～25日(土) 9時～17時

予約方法 電話(乗客30分前まで)、またはWEBサイト(前日17時まで)

① 電話予約の受付時間は、平日 9時～16:30まで。
(※ CRASSO開催期間中の23日～25日は受付可です)

② WEBサイトの予約フォーム入力時、予約の確定ではありません。
③ 予約が確定した段階で、お申し込みいただいた乗客専用バスはメールアドレスに連絡します。

運行エリア さぬき市・東かがわ市

④ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

※ 運行エリアは、四国経済産業局・ネットトヨタ瀬戸内株式会社・CRASSO実行委員会・自治体・地域交通事業者との連携により、変更される可能性があります。

乗客専用バス

東かがわ市	さぬき市
01 CRASSO会場内(バスセンター前)	10 香川工業
02 さぬき市	11 香川工業
03 三木町	12 香川工業
04 香川工業	13 香川工業
05 香川工業	14 香川工業
06 香川工業	15 香川工業
07 香川工業	16 香川工業
08 香川工業	17 香川工業
09 香川工業	18 香川工業
10 香川工業	19 香川工業
11 香川工業	20 香川工業
12 香川工業	21 香川工業
13 香川工業	22 香川工業
14 香川工業	23 香川工業
15 香川工業	24 香川工業
16 香川工業	25 香川工業
17 香川工業	26 香川工業
18 香川工業	27 香川工業
19 香川工業	28 香川工業
20 香川工業	29 香川工業
21 香川工業	30 香川工業
22 香川工業	31 香川工業
23 香川工業	32 香川工業
24 香川工業	33 香川工業
25 香川工業	34 香川工業
26 香川工業	35 香川工業
27 香川工業	36 香川工業
28 香川工業	37 香川工業
29 香川工業	38 香川工業
30 香川工業	39 香川工業
31 香川工業	40 香川工業
32 香川工業	41 香川工業
33 香川工業	42 香川工業
34 香川工業	43 香川工業
35 香川工業	44 香川工業
36 香川工業	45 香川工業
37 香川工業	46 香川工業
38 香川工業	47 香川工業
39 香川工業	48 香川工業
40 香川工業	49 香川工業
41 香川工業	50 香川工業
42 香川工業	51 香川工業
43 香川工業	52 香川工業
44 香川工業	53 香川工業
45 香川工業	54 香川工業
46 香川工業	55 香川工業
47 香川工業	56 香川工業
48 香川工業	57 香川工業
49 香川工業	58 香川工業
50 香川工業	59 香川工業
51 香川工業	60 香川工業
52 香川工業	61 香川工業
53 香川工業	62 香川工業
54 香川工業	63 香川工業
55 香川工業	64 香川工業
56 香川工業	65 香川工業
57 香川工業	66 香川工業
58 香川工業	67 香川工業
59 香川工業	68 香川工業
60 香川工業	69 香川工業
61 香川工業	70 香川工業
62 香川工業	71 香川工業
63 香川工業	72 香川工業
64 香川工業	73 香川工業
65 香川工業	74 香川工業
66 香川工業	75 香川工業
67 香川工業	76 香川工業
68 香川工業	77 香川工業
69 香川工業	78 香川工業
70 香川工業	79 香川工業
71 香川工業	80 香川工業
72 香川工業	81 香川工業
73 香川工業	82 香川工業
74 香川工業	83 香川工業
75 香川工業	84 香川工業
76 香川工業	85 香川工業
77 香川工業	86 香川工業
78 香川工業	87 香川工業
79 香川工業	88 香川工業
80 香川工業	89 香川工業
81 香川工業	90 香川工業
82 香川工業	91 香川工業
83 香川工業	92 香川工業
84 香川工業	93 香川工業
85 香川工業	94 香川工業
86 香川工業	95 香川工業
87 香川工業	96 香川工業
88 香川工業	97 香川工業
89 香川工業	98 香川工業
90 香川工業	99 香川工業
91 香川工業	100 香川工業

※ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

① 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

② 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

③ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

④ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑤ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑥ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑦ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑧ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑨ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑩ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑪ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑫ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑬ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑭ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑮ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑯ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑰ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑱ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑲ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

⑳ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㉑ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㉒ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㉓ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㉔ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㉕ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㉖ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㉗ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㉘ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㉙ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㉚ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㉛ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㉜ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㉝ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㉞ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㉟ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㊱ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㊲ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㊳ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㊴ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㊵ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㊶ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㊷ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㊸ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㊹ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㊺ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㊻ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㊼ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㊽ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㊾ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

㊿ 乗客専用バスは、乗客の確保が必要です。

6

2 スマートモビリティ「CRASSO号」の運行

	「CRASSO」期間外		「CRASSO」期間中 2日間
	11/21(火)～22(水)	11/23(祝・木)	11/24(金)～25(土)
運行方式・ダイヤ	自由経路ミーティングポイント型・非固定ダイヤ型 (工房・工場、飲食・宿泊、観光、交通拠点等 63のミーティングポイントを設定)		
利用対象者	ノマドワーカー 3名/日 (コワーキングスペース利用者、フリーランス・クリエイティブ人材 等)		オープンファクトリー来訪者 (域外の事業関係者・取引先、ビジネス客、視察訪問、行政関係者)
運賃	無料		
予約方式	電話又はウェブサイトからの受付		
運行時間	9:00～16:00(6時間)	9:00～17:00	
運行エリア	東かがわ市、さぬき市内 ※上記エリア内を予約申込に応じて、自由に運行。		
乗降ポイント	域内観光拠点、景観スポット、飲食店、宿泊施設、コワーキング・ワーケーション施設、駅等の交通結節点 等		オープンファクトリー出展者、総合案内(バッセルおおち)、駅等の交通結節点
車両台数	2台 (普通車)		6台 (普通車+ジャンボタクシー)
稼働台数	2台 (普通車)		11/24 5台(ジャンボ 3台、普通車2台) 11/25 4台(ジャンボ 1台、普通車3台)

7

2 スマートモビリティ「CRASSO号」の運行

全体で、71トリップ、総乗車人員 102人、相乗り率 1.44。

◆トリップ数

	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	合計
ノマドワーカー	6	10	9			25
CRASSO参加者			15	21	10	46

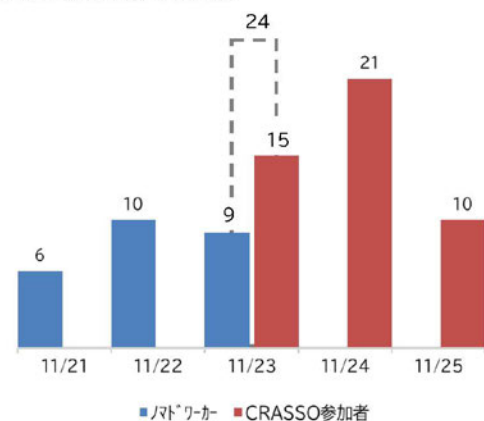
◆総乗車人員(上段) / 相乗り率(下段)

	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	合計
ノマドワーカー	8	10	9	—	—	27
	1.33	1.00	1.00	—	—	1.08
CRASSO参加者	—	—	23	37	15	75
	—	—	1.53	1.76	1.50	1.63

◆利用回数

	利用者数	1人当りトリップ数
ノマドワーカー	4人	6.25
CRASSO参加者	16人	2.88
合計	20人	3.55

◆日別 利用実績(トリップ数)



8

2 スマートモビリティ「CRASSO号」の運行



9

3 利用者アンケートの結果

◆「CRASSO号」の取組みについて

- *マイカーの利便性と比較し多少の手間を要し不便さも抱える「CRASSO号」の受容性を確認。地域でオーバーツーリズム問題を起こさないために「CRASSO号」のようなモビリティサービスは必要。
- *CRASSO実行委員会など、地域企業による公共交通への関与は大切であり、地域課題・社会課題に関与する企業を応援したい。
- *有料サービスとする場合は、「一日定額での使い放題」(1,000円程度)が適当との回答が多数。

◆「CRASSO号」の利用について

- *「CRASSO号」を知ったのは、「出店者から案内」「知人、友人の紹介」。
- *利用した理由は、「無料で利用できるから」「訪問先まで便利に、スムーズに移動できそうだったから」「訪問先への行き方や駐車場の有無がわからないから」「自家用車・レンタカー等を利用できなかったから」の順。
- *県内・地元(東讃地域)の利用者が半数。
- *東讃地域までのアクセスは、「自家用車」が半数。残りは、「電車・高速バス」の利用。

◆改善したほうがよい点、サービス内容

- *地域外からの日帰りでの訪問だったが、CRASSO号のおかげで、とてもスムーズに廻ることができた。
- *車を運転しないため、とてもありがたかった。
- *予約制のパターンと定期巡回バスみたいなものがあると便利。
- *予約と定期便のハイブリッドがよい。
- *乗り合わせた他のグループの方ともお話ができて非常に楽しかった。
- *スムーズに廻るためには、事前に自分自身でしっかり情報収集、行程作成が必要。オープンファクトリーの予約手配などの情報も一緒に確認、手配できれば、より便利。
- *利便性が高まれば、その分コストもかかるので、バランスをうまくとることが必要。
- *訪問先企業とタクシーがもっと連携していければ、待ち時間も解消するかもしれないが、受入れ企業の負担も増えて難しいか。
- *地域の施設の営業時間や施設の設備情報、CRASSO号の予約方法がわかるようなサービス(WEBアプリなど)があれば使いやすい。
- *CRASSO号の予約と工場の案内時間をあわせるのが手間。土地勘が無く移動に要する時間がわからないため、予約の予定が組みにくかった。

10

4 「CRASSO号」の今後に向けて

◆新たな観光交通需要に対応した「CRASSO号」のねらい

「来訪者に気持ちよく移動してもらうこと」、
「地域住民の日常生活を維持すること」、
これらの調和をはかること。

*東かがわ市、さぬき市を観光目的等の来訪者の90%以上が、自家用車を利用。一方、電車やバスでアクセスでは、地域を巡る公共交通の足がないという「二次交通」の問題を抱える。

*「CRASSO」出展企業の拠点が住宅地にある／分りにくい所にある／道路がとて狭い場合がある／充分な駐車場がない場合等、初めて訪れる土地で地域に不案内な来訪者が個別に自家用車などで移動すると、例えば、狭い生活道路内に多くの車が流入し、渋滞や駐車の問題が発生したり、道に迷ったり、危険であったりと、地域の日常生活に支障をきたす恐れ。

*来訪者の相乗りを促進し、束ねることで、地域内での観光交通の流動量をコントロールし、生活交通への影響を低減する(生活の足を奪わない)ことができないか。

◆実証調査により得られた知見や成果

<「CRASSO」参加者>

- 想定されるペルソナ像は「県外等、地元地域に不案内な来訪者、運転に自信のない来訪者。」ベッセルおおちからのパーク＆ライド 利用も一定見込める。
- 地域交通事業者の観光需要への対応による生活交通への供給面での影響は、現状ボリュームでは許容範囲内。
- 地域公共交通事業者(タクシー事業者)にとっては、観光交通も新たな需要となりうることへの気づき。
- 地域事業者にとっては、初めてのエリアイベントの主催であり、公共交通へのインパクトも意識して活動を展開。地域交通に関与するきっかけに。
- 「CRASSO号」の運行により、エリアイベントとしてのPR効果など、地域活性の空気感醸成にインパクト。

<ノマドワーカー>

- ノマドワーカーにとって瀬戸内海に面したロケーションは魅力的。
- 当地で働くためのインフラ環境(ワークスペース)は不十分。その設備等に関する細かな情報提供(利用時間・料金、Wifi 環境、電源、オンライン打合せの可否等)等も必要。

11

4 「CRASSO号」の今後に向けて

四国経済産業局が運行主体となり、ネットトヨタ瀬戸内株式会社のご協力を得て、自治体・地域交通事業者、CRASSO実行委員会とが連携し、実証運行を実施。

タクシー事業者、地域企業（CRASSO参画企業）双方の
マインドセット ⇒ 【地域課題の共有】



瀬戸内国際芸術祭や大阪・関西万博2025が控えるなか、オープンファクトリー「CRASSO」の来訪規模が拡大すると、現状の地域交通事業者のリソースでの対応は困難。そもそも、人口減少が加速化するなか、タクシー事業者をはじめとする地域交通事業者の存続、地域の生活インフラの維持も危機的な状況。

「CRASSO」により誘発される「観光需要」を新たな商機として、タクシー事業者の経営基盤を強化。地域企業が、タクシー事業者との連携をはかりながら、地域交通等の社会課題に関与することで、オープンファクトリー「CRASSO」のさらなるブランディングを推進。それを自治体・四国経済産業局等が後押し。

12

◆来場者アンケート調査

【1-1】参加された方の所属企業・機関について、お答えください。＜所在地（勤務地）＞

選択肢	回答数	構成比
①香川県	19	33.3%
②愛媛県	13	22.8%
③徳島県	2	3.5%
④高知県	1	1.8%
その他	18	31.6%
NA	4	7.0%
計	57	100.0%

※その他：東京都（4）、神奈川県（2）、静岡県（2）、愛知県（2）、鹿児島県（2）、千葉県、岡山県、広島県、山口県、福岡県、熊本県（1）

【1-2】参加された方の所属企業・機関について、お答えください。＜（業種）＞

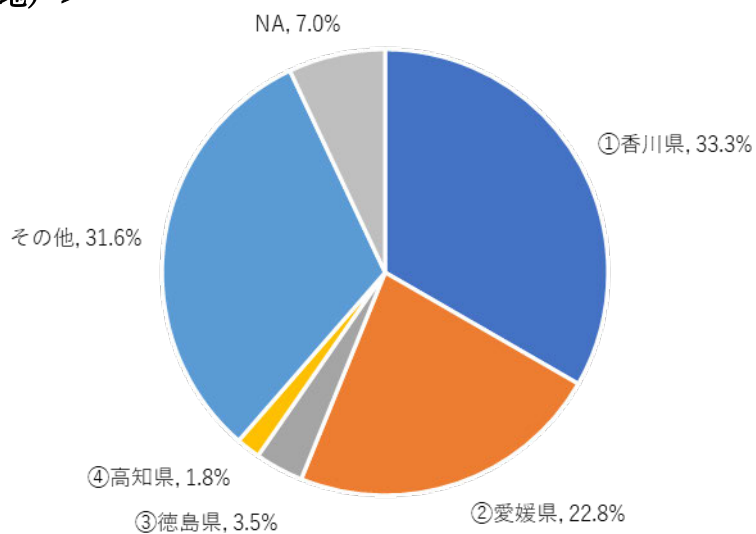
選択肢	回答数	構成比
①自動車メーカー・自動車部品メーカー	11	19.3%
②自動車関連部品の商社・卸・小売業	5	8.8%
③交通事業者	2	3.5%
④省庁関係者	3	5.3%
⑤自治体関係者	14	24.6%
⑥産業支援機関	1	1.8%
⑦大学機関・公的研究機関	7	12.3%
⑧金融機関	2	3.5%
⑨個人・フリーランス	1	1.8%
その他	5	8.8%
NA	5	8.8%
計	57	100.0%

※その他：レンタカー・カーシェア、サービス業、社会福祉協議会、その他製造業、研究所

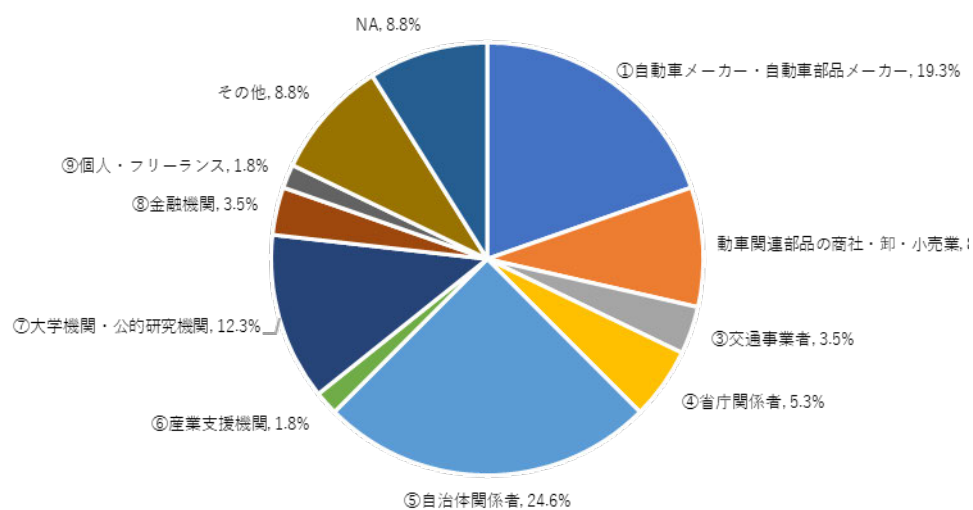
【1-3】参加された方の所属企業・機関は、スマートモビリティチャレンジ推進協議会の会員ですか。

選択肢	回答数	構成比
①はい	7	12.3%
②いいえ	39	68.4%
③わからない	10	17.5%
NA	1	1.8%
計	57	100.0%

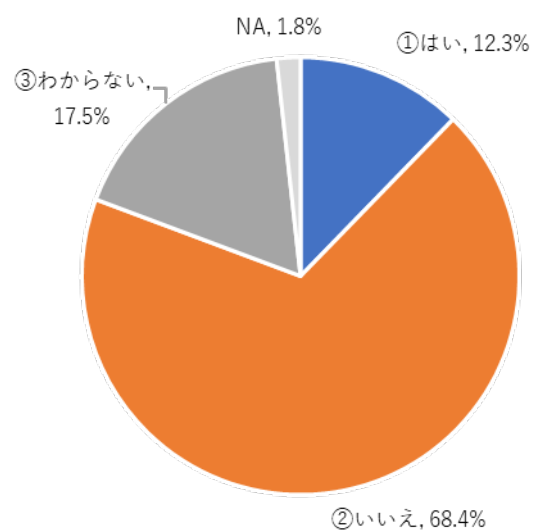
<所在地（勤務地）>



<業種>

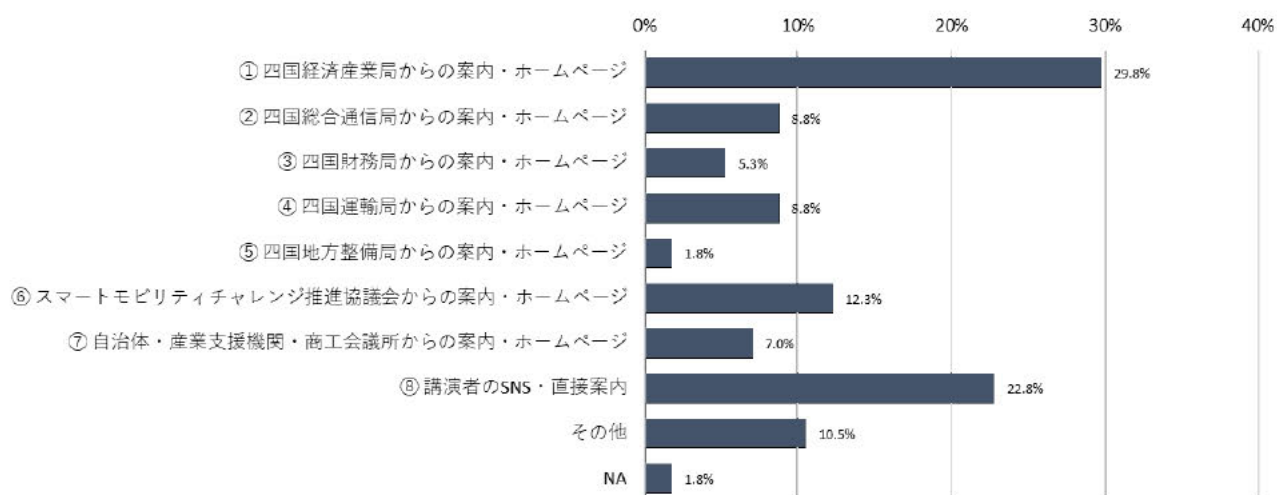


<スマートモビリティチャレンジ推進協議会の会員か>



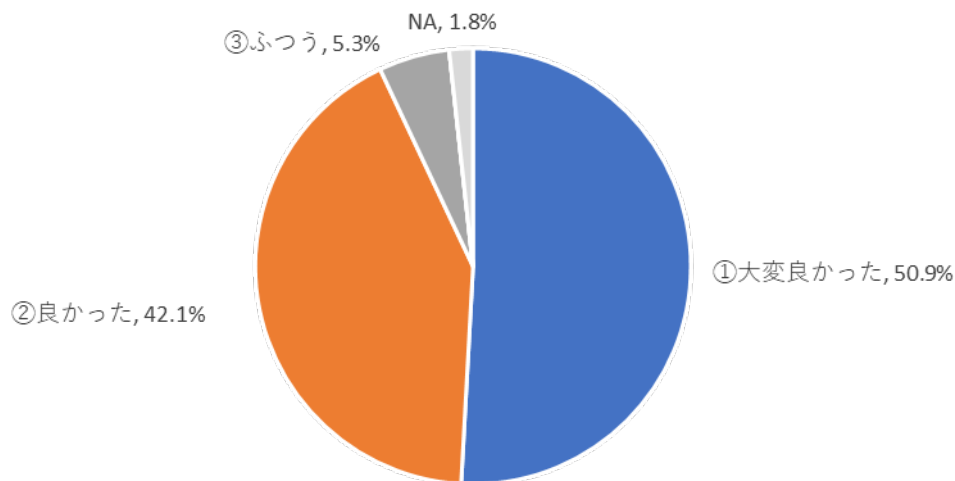
【2】本シンポジウムをどこでお知りになりましたか。（複数回答可）

選択肢	回答数	構成比
① 四国経済産業局からの案内・ホームページ	17	29.8%
② 四国総合通信局からの案内・ホームページ	5	8.8%
③ 四国財務局からの案内・ホームページ	3	5.3%
④ 四国運輸局からの案内・ホームページ	5	8.8%
⑤ 四国地方整備局からの案内・ホームページ	1	1.8%
⑥ スマートモビリティチャレンジ推進協議会からの案内・ホームページ	7	12.3%
⑦ 自治体・産業支援機関・商工会議所からの案内・ホームページ	4	7.0%
⑧ 講演者のSNS・直接案内	13	22.8%
その他	6	10.5%
NA	1	1.8%
計	57	100.0%



【3-1】本シンポジウムの全体的な満足度をお聞かせください。

選択肢	回答数	構成比
①大変良かった	29	50.9%
②良かった	24	42.1%
③ふつう	3	5.3%
④あまり良くなかった	0	0.0%
⑤良くなかった	0	0.0%
NA	1	1.8%
計	57	100.0%



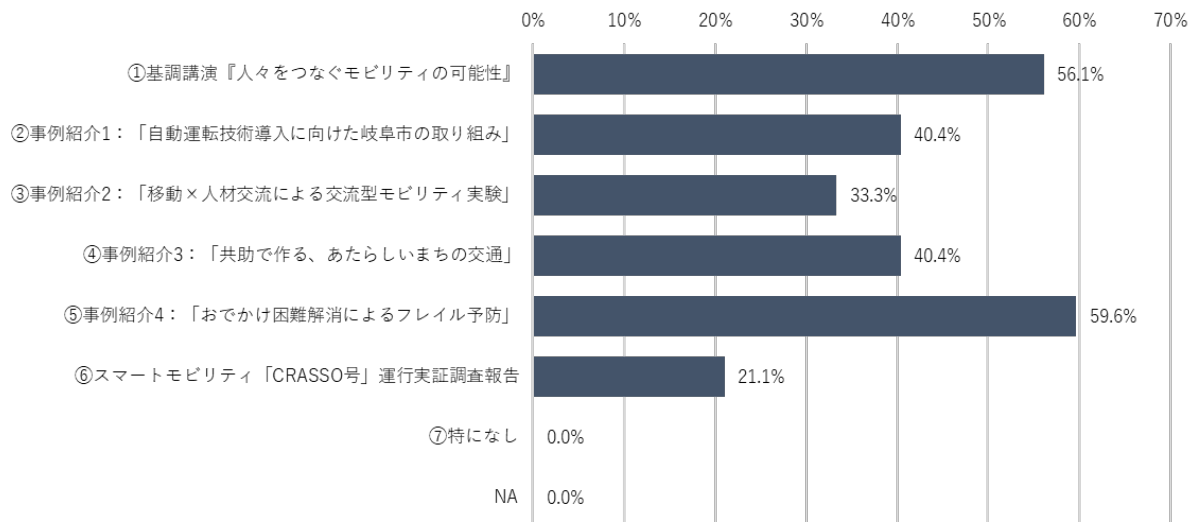
【3-2】本シンポジウムに参加した感想をご自由にご記入ください。

- ・地方の衰退は予想以上のスピード。呑気に構える暇はないと思う。また効果が出るまで10年。民間企業でそんなには待てない。
- ・地域交通の現状と課題が分かった
- ・身近なところでこんなに多くの取り組みがなされていることを知り驚きました。
- ・各自治体での実証、サービスインにはやはりアプリの他に電話、というツールが必須になることを改めて感じた。
- ・地域交通に関する様々な課題とその解決に取り組む具体例を紹介いただけたことで、地域の交通に関する課題をより身近に感じることができました。
- ・普段とは異なる分野の課題に対する取組が自分達の仕事にも通じることに気づきがありました。
- ・人口減少により、地方の公共交通が存続の危機となっている。老朽化したインフラの整備には期待できず、スマートモビリティによる事業化を期待する。
- ・実例が多く、興味深いお話が多かったです。シンポジウムでお話しされている方の資料、話のレベルが高く、ビジネスマンとしても大いに参考になりました。
- ・maasの現状と課題、目指している目標などが知れて学びとなった。具体的な実装事例も聞けて貴重な時間となった。
- ・それぞれの取組みの課題と成果が良く理解できました。官民連携、合意形成の重要性を実感しました。
- ・一度に多くの方の取り組み内容、その結果をお伺いできる良い機会になりました。
- ・色々な方の事例をちょうどいい時間配分で聞けてとても参考になりました。
- ・各地の取り組みを色々な団体が行っていることに興味がありました
- ・様々な事例を聞くことができて今後の参考になった。
- ・現在の取組状況が、把握できました。
- ・未来の自動車について、知ることが出来る、良い機会となりました。
- ・多くの取り組みを知ることが出来た。課題に対して取り組むにあたり色々越えるべき障害や調整が必要だったと思われ、結果だけを見てよかったよかったとは言えない面はあるが、学ぶべき部分は多くあった。

- ・ゲストが多すぎるのかな…と感じた。全体的にゲストの講演内容は興味深いものであったが、1人の発表時間をもう少し増やして、深く教えてほしかった。
- ・オンデマンド交通や Level4 の自動運転バスに関心があったので、本日は貴重なお話を聞くことができました。
- ・ヒアリングにより調査や、実際にどうだったかの成果をきちんとやっていけるようにします。
- ・様々な自治体で交通難民を減らす工夫がなされていることが分かった。地方路線が廃線になるかもしれないという状況において、バスは初期費用が安く、路線変更もしやすいなど、電車にはないメリットがあると思うので、今後さらに活用されればいいと思った。
- ・同じデマンド交通事業に参画する皆様のお取り組みを知ることが出来、大変参考になりました。
- ・事例紹介の中で、様々なアプローチを認識できました
- ・本気で地域交通へ取り組まれているのを拝聴し勇気をもらいました。
- ・色々な例が聞け、参加してよかった。
- ・ヒアリングの重要性にあらためて気づかされました。
- ・公共交通創出のヒント・情報を得るため。
- ・自動運転や幅広い分野の実例を伺うことができ、新しいサービスを作っていくための座組やノウハウなど参考になった。
- ・様々なモビリティの最新の事例を伺うことができ、学ばせて頂きました。現地の利用者の動態、運営上の考慮点の一端に触れることができ、良かったと思います。
- ・いずれも当事者の方々による、具体的な体験に基づく事例紹介であり、とても説得力を感じました。
- ・たくさんの事例を知る事が出来て良かったです。
- ・Maas や交通のつながりが持つ可能性について、理解できた。
- ・土井様、森田様のお話しは、昨日聞いた内容でしたが、ネットトヨタの大石様のお話には、気がいくつかありました。
- ・多くの事例に触れる事ができ、有意義だった。

【4-1】本日のプログラムの中で、特に参考になった・印象に残ったプログラムをお教えてください。（複数回答可）

選択肢	回答数	構成比
①基調講演『人々をつなぐモビリティの可能性』	32	56.1%
②事例紹介1：「自動運転技術導入に向けた岐阜市の取り組み」	23	40.4%
③事例紹介2：「移動×人材交流による交流型モビリティ実験」	19	33.3%
④事例紹介3：「共助で作る、あたらしいまちの交通」	23	40.4%
⑤事例紹介4：「おでかけ困難解消によるフレイル予防」	34	59.6%
⑥スマートモビリティ「CRASSO号」運行実証調査報告	12	21.1%
⑦特になし	0	0.0%
NA	0	0.0%
計	57	100.0%



【4-2】その理由をお教えてください。

（基調講演）

- ・お話が大変分かりやすかったため
- ・モビリティの概念、考え方、手法。

（基調講演＋事例紹介）

- ・過疎地域の事例紹介などは、特に身近な問題として大変興味深い内容であったため。
- ・色々な事例を学ぶことが出来た。直接聞く話もあるし、全く新たな取り組みを知ることができた。
- ・最近では2024年問題もあり、自動運転が自治体の実証実験を数多く進められており基調講演や事例等を通じて、その状況を伺えたため。
- ・うまくいかなかったことも含め、様々な活動事例を知る良い機会となりました。
- ・基調講演については、クロスセクター効果という考え方がよく理解できたため。事例紹介については、取組の概要が分かりやすく、単純に横展開できるものではないなど改めて気付いたため。
- ・地域の公共交通の仕組み作りに取り組んでいるので
- ・独自のアイデアが随所に生かされている感じがしました。
- ・「地域公共交通を生かした地域内経済循環の流れをいかにして創出していくか」の観点で非常に参考になった。
- ・今の業務に関係が深いから。
- ・新しい取り組みからの検証方法が詳しく説明されており、とても参考になりました。
- ・いずれのプロジェクトも地域住民の方と実際に交流する中から、地域課題を導き出し、目的を明確化されていることに共感しました。

（事例紹介＋運行実証調査報告）

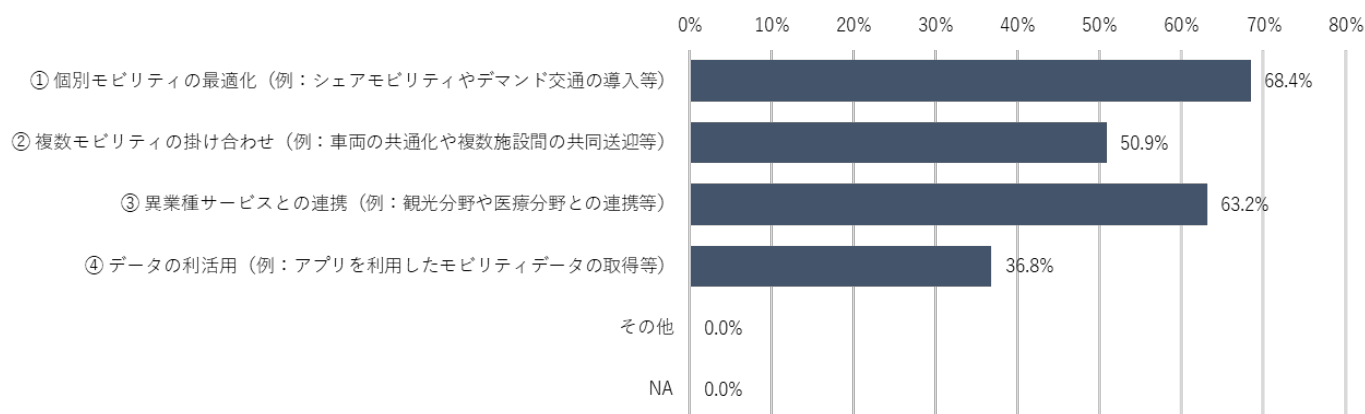
- ・自動運転に興味が深いため。
 - ・自動運転がもっと発展すれば、運転手不足の解消にもつながると思ったから。
- また、バスの乗り放題券は需要がありそうだったと思ったが、学生以外はあまり購入が少ないという

ことは意外だった。1か月乗り放題では乗るかわからないから買わないのであれば、回数券なども選択肢の一つとして考えられると思う。

- ・自由に行動できる大切さを、学びました。
- ・共助という発想や、教育→交通などへと課題の変遷含めてとても素晴らしい取り組みだと感じたからです。
- ・自分が住んでいる地区と土地柄も似ており、同様なことは出来ないがとてもこれからの地域づくりのヒントをいただいた点。
- ・普段、住宅と金融の分野で仕事をしているが、社会基盤である交通の大切さ、こうした取組を進めている地域の金融手法にも検討の余地があるように感じたので。
- ・興味ある事項に関連が深かった。
- ・今回お話をいただいた中で、すごく地域密着している印象を受けました。
住民、事業者、自治体がそれぞれの役割を話すことで地域の課題解決の道筋を示してくれたように思います。
- ・小さなニーズから、まわりが動いた。
- ・同じチョイソコを導入し公共交通を目指し実証実験中ですが、自治体の関与がなく、助成金無しで運行できることが素晴らしいと思います。高齢者の足となるデマンド交通と、イベント開催によりフレイル予防につながる活動は、弊社も目指しているところです。
- ・目的を明確にした手段としての活動、および、そのデータ分析と活用
- ・過疎地域で同じような課題を持っているので。
- ・デマンド交通の広がりを知る事ができた。
- ・基調講演について、経済効果を示す考え方、森田様の実証実験での分析や取り組み、大石様の地域の移動とフレイル予防の取り組みによって地域の方が予想以上に活動的になったこと、そのための努力が垣間見られたこと。地域の移動課題解決には、やはり、熱意のあるキーマンが必要と改めて感じた。
- ・東京や都市部で住んでコンサル的にあれこれ指示するわけではなく、実際現場に携わって地域の人たちと頑張ってる人なので
- ・それぞれに特徴があり、新しい気づきがあったため

【5-1】興味のあるスマートモビリティ分野をお教えてください。（複数回答可）

選択肢	回答数	構成比
① 個別モビリティの最適化（例：シェアモビリティやデマンド交通の導入等）	39	68.4%
② 複数モビリティの掛け合わせ（例：車両の共通化や複数施設間の共同送迎等）	29	50.9%
③ 異業種サービスとの連携（例：観光分野や医療分野との連携等）	36	63.2%
④ データの利活用（例：アプリを利用したモビリティデータの取得等）	21	36.8%
その他	0	0.0%
NA	0	0.0%
計	57	100.0%



【5-2】地域交通について特に課題だと感じていることについて教えてください。

（需要に対応した課題）

- ・移動に課題を感じている高齢者に対して移動インフラの提供だけでなく、移動したいと思う動機付けが重要になると感じています。
- ・過疎地等、経営効率が期待できない地域における事業者、人員確保。
時間帯別で需要に著しい偏りがある路線需要への対応。（朝夕には需要があるが日中には需要がほとんどない等。）
- ・高齢化にともない、新たな移動手段と方法。
- ・高齢化による移動手段の確保
- ・高齢者のデジタルデバイス活用
- ・高齢者の移動と高校生の通学
- ・高齢者の免許証返納の移動
- ・利用者減による廃線、運転手の担い手不足。完全には廃線にできないが本数が減ることによって利用者がさらに遠のく悪循環になっていると感じるため。
- ・人口密度が低く採算が取れない問題
- ・乗車人数の減少による減便・廃線などで利便性が悪くなり、乗車人数がさらに減るという負の循環が起こること。運転手のなり手がいないこと。
- ・地域交通を「現在必要としていない方」の課題への意識づけ
- ・新規利用者の開拓
- ・優秀な若い人はみんな都会に取られて残り滓しかいない。
- ・住民の方への需要を考えて、利便性の高い公共交通を検討しております。

（サービス供給に対応した課題）

- ・公共交通がない地域では、高齢者同士の支えあいで何とか保たれているが、もうもたないと感じており、新しい取組が必要だと感じている。
- ・運転手不足とドライバーの高年齢化。
- ・担い手不足
- ・自治体と交通事業者の合意形成
- ・自治体の負担増、ドライバー不足。
- ・ネガティブキャンペーン貼るつもりはないけど何をやっても人材がバス会社に来ない。

- ・働く人材の確保
- ・無駄の排除
- (サービス内容の課題)
- ・デマンド交通を導入するだけでは交通課題は解決しないと思います。どこまで周辺を巻き込めるか、足並みを揃えて取り組めるか、公共交通事業者の妥協点をこちら側に引き寄せられるか等、課題は多いと感じています。
- ・MaaS の推進
- (推進体制・検討体制等)
- ・ステークホルダー調整。
- ・既存のコミュニティバスに上乗せする形でのサービス提供する場合、予算が大幅に増加する可能性が高いことから踏み込みにくい。公共交通全体での予算規模を増加させずにサービス拡充を図る手法が見出しにくい。
- ・人材不足、公共交通との兼ね合い、行政との連携
- ・特に行政が主導するコミュニティ交通の実証実験では、しばしば住民不在のまま検討が進み、結果として利用されないケースが散見されるように思います。地域のステークホルダーの巻き込みは重要な課題だと思っています。
- ・市町村との連携がうまくできず、利用者や交通会社と役場との温度差が生じる。
- ・商売として成り立たせること。しかも芽があるうちに、行政を巻き込んで解決しなければならないと思います。
- ・結局みんな他人任せ。自分も歳を取って若い時みたいな主体性は発揮できない
- (課題の多様性)
- ・立場や状況によって課題がバラバラなこと。どうしても動ける自分達が一番困っている人ではないこと。
- (事業資金の課題)
- ・既存の交通事業との兼ね合い。また、よりきめ細かい支援を網羅することの難しさ。
行政の行う事業ではより住民目線の支援が難しいが、住民主体で取り組むには資金面での不安が大きい。
- (地域公共交通インフラの課題)
- ・公共交通が不便な地域は、地元住人の免許返納時等に負担がかかり、生活のクオリティが著しく低下する。地域の未来の選択肢がせばまる。
- ・公共交通の衰退により、地域住民による支え合いの必要性は必要とを感じるが、これを支える世代の人の関心の低さが課題と感じる。高齢者が高齢者を支えることは無理があり一つ下の世代やもっと若い世代の支援が必要である。
- ・公共交通の崩壊（廃線等）、代替移動手段を創れない
- ・地域によって、交通事情が異なること。
- ・自動車から公共交通へのシフトが利用者視点ではしたくても、利用環境的に、心理的に十分な対応や配慮にまだまだ乖離があること。
- ・地域の移動では、採算面では難しい。岐阜のご講演は、境町を追っているように思え、技術課題を潰す事は必要なのはわかるが、ビジネスとして持続性をどう持たせるか、あるいは、インフラ

として割り切って、補助金やふるさと納税や広告などの交通以外で事業継続するしか道はないのか。

それと、実証実験を繰り返し行うだけで、実装に進まず終わってしまう事が多いが、見切り発車してでも、多くの住民に自動運転はこういうもので、だから、交通ルールを守らなければならないんだと知らしめる、社会受容にも重きをおく必要がある。

(その他)

- ・実験等が多すぎ、タイヤ等が頻繁に変わること。
- ・色々なタイプのものがあり、県外者は使えない。統一的な情報が乏しい。乗合バスは全国一律。

【6】本日のご講演について、ご質問がある方は、どなた宛の質問かも含めてご質問内容をこちらに記載ください。

- ・開催、運営ありがとうございました。とてもスムーズに拝聴させていただきました。
- ・本日は大変参考になる内容でした。現在、移動に関する問題について地域住民の皆様と一緒に考えている最中で、とても良いヒントとなりました。
- ・とても、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・参考になりました。
- ・大変勉強になりました。
- ・色々な取り組みを知ること、次の課題解決の参考になります。ありがとうございました。
- ・より多くの取り組みを知りたいと感じた。
- ・次回があれば、直接参加したい。
- ・今後とも産官学民、利用者が歩み寄れる部分を様々な事例のご発信を通じて学ばせて頂ければ幸いです。
- ・鉄道・バス等で意欲的な施策が数多くあり、好感が持てる。
- ・成功例ばかりでなく、失敗例も聞きたい。
- ・東讃地区には昔ビジネスで行政の観光振興の業務委託の仕事をしてました。さぬき市、東かがわ市の二次交通問題は10年前から言われてましたしその重要性を説いてましたが、議員のエゴと地域の利害関係で道路拡張になりました。そして自分がやった実績は無かった事にされて今になって二次交通が重要ですか。笑わせますね。二度とその地域のために仕事したいと思いません。

【7】スマートモビリティチャレンジシンポジウム in 四国に関する意見・感想等がありましたら、お聞かせください。

- ・今回発表された事例の今後の経過等、教えていただけますと幸いです。
- ・大変勉強になりました、ありがとうございます。
- ・会議資料をデータ提供いただければ幸いです。
- ・山間区域や田舎では本当に必要な人の交通手段がない。従って、例えばライドシェアをタクシー会社のみ取得可能とし、我々バス事業者と連携する。そのライドシェアを取得したタクシー会社は貨物や郵送物を通常は各自宅へ配達しつつ、乗合タクシーなどの責務を行う。タクシーの在り

方そのものを見直さないと特に田舎のタクシー会社、それに紐づけて路線バスなどは存続が難しいのではないかと考えます。

- ・本企画のご発案、運営のご対応、ご講話頂けたことに感謝申し上げます。引き続きこのようなシンポジウムを実施いただけますと幸いです。
- ・引き続きこのようなシンポジウムを開催していただければと思います。

【8】本シンポジウム主催者（四国経済産業局）への御要望がありましたら、お聞かせください。

（回答なし）